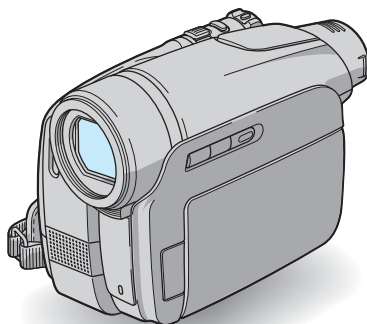
SONY

2-659-813-01 (1)

デジタルビデオカメラレコーダー

HANDYCAM®

取扱説明書

DCR-HC96

⚠警告 **電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告 安全のために

→119〜122ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷がないか、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラや充電器などの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにテクニカルインフォメーションセンターへご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら
煙が出たら

➡

❶ **電源を切る**
❷ **電池を外す**
❸ **テクニカルインフォメーションセンターに連絡する**

裏表紙に**テクニカルインフォメーションセンターの連絡先**があります。

⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

❶ **すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂の恐れがあります。**
❷ **液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。**
❸ **液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。**
❹ **液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。**

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

電池について

「安全のために」の文中の「電池」とは、バッテリーパックも含みます。

使用前に必ずお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。

本機には2種類の取扱説明書があります。

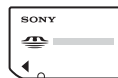
- 取扱説明書（本書）
- 付属のアプリケーションを使用してパソコンと接続するための「ファーストステップガイド」（付属のCD-ROM内）

本機で使えるカセットについて

Mini DV マーク付きミニDVカセットが使えます。カセットメモリーには非対応です（詳しくは109ページ）。

本機で使える“メモリースティック”について

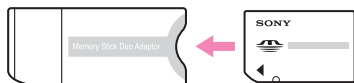
“メモリースティック”のサイズには2種類あります。本機では、MEMORY STICK DUO（“メモリースティック　デュオ”）、MEMORY STICK PRO DUO（“メモリースティック　PRO（プロ）　デュオ”）マーク付きの“メモリースティック　デュオ”が使えます（詳しくは110ページ）。

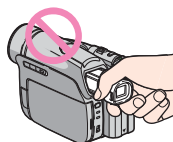
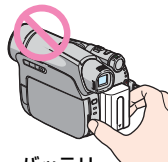
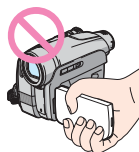
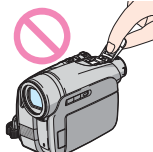
“メモリースティック　デュオ”
（本機で使用するサイズ）

“メモリースティック”
（本機では使用できません）

- “メモリースティック　デュオ”以外のメモリーカードは使用できません。
- “メモリースティック　PRO”、“メモリースティック　PRO　デュオ”は“メモリースティック　PRO”対応機器でのみ使用可能です。

“メモリースティック　デュオ”を“メモリースティック”対応機器で使用する場合

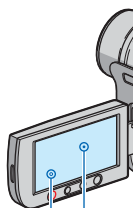
必ず“メモリースティック　デュオ”をメモリースティック　デュオ　アダプターに入れてからお使いください。

メモリースティック
デュオ　アダプター

故障や破損の原因となるため、特にご注意ください。

- 次の部分をつかんで持たないでください。

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「取り扱い上のご注意とお手入れ」もご覧ください（114ページ）。
- USBケーブル、i.LINKケーブルなどで接続する場合、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと、端子部が破損することがあります。また、本機の故障の原因となります。

- ACアダプターをハンディカムステーションから抜くときは、DCプラグとハンディカムステーションを持って取り外してください。
- 本機をハンディカムステーションに取り付けたり、取り外すときは、必ず本機の電源を切ってください。

メニュー項目、液晶画面、ファインダーおよびレンズについてのご注意

- 灰色で表示されるメニュー項目は、その撮影/再生条件では使えません(同時に選べません)。
- 液晶画面やファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

- 液晶画面やファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。夕暮れ時の太陽など光量の少ない場合は撮影できます。

録画/録音に際してのご注意

- 事前にためし撮りをして、正常な録画/録音を確認してください。
- 万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたがビデオで録画/録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

本書について

- 画像の例としてスチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。
- 記録メディアやアクセサリーの仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

カール ツァイスレンズ搭載

本機はカール ツァイスレンズを搭載し、繊細な映像表現を可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスとソニーで共同開発した、MTF測定システムを用いてその品質を管理され、カール ツァイスレンズとしての品質を維持しています。

さらに本機はT*コーティングを採用しており、不要な反射を抑え、忠実な色再現性を実現しております。

MTF=Modulation Transfer Functionの略。

コントラストの再現性を表す指標です。被写体のある部分の光を、画像の対応する位置にどれだけ集められるかを表す数値。

目次

準備する

撮る / 見る

次のページへつづく➡

メニューで設定を変更する

ダビングや編集をする

パソコンとつなぐ

困ったときは

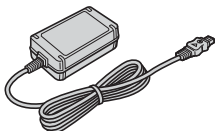
その他

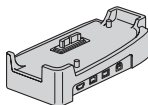
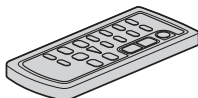
安全のために 119

準備1:付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。
(　)内は個数。

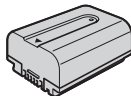
- ビデオカセット、"メモリースティック　デュオ"は別売です。本機で使えるカセットテープと"メモリースティック　デュオ"については3、109、110ページをご覧ください。

ACアダプター(1)(9ページ)

電源コード(1)(9ページ)

ハンディカムステーション(1)(9ページ)

ワイヤレスリモコン(1)(32ページ)

ボタン型リチウム電池があらかじめ取り付けられています。

AV接続ケーブル(1)(34、60、82ページ)

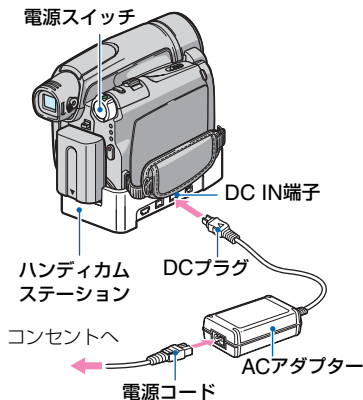
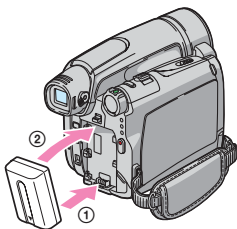
USBケーブル(1)(69、72ページ)

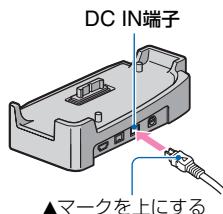
リチャージャブルバッテリーパック
NP-FP50(1)(9、112ページ)

CD-ROM「Picture Package Ver.1.5.1」(1)(75ページ)

取扱説明書 <本書> (1)

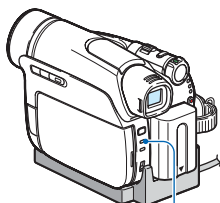
保証書(1)

準備 2:バッテリーを充電する

専用の"インフォリチウム"バッテリー(Pシリーズ)(112ページ)を本機に取り付けて充電します。

1 バッテリーと本体の端子を合わせ(①)、「カチッ」というまでしっかりはめる(②)。

2 電源スイッチを矢印の方向にずらして、「切(充電)」(お買い上げ時の設定)にする。

3 DCプラグの▲マークを上にして、ハンディカムステーションのDC IN端子につなぐ。

4 電源コードをACアダプターとコンセントにつなぐ。

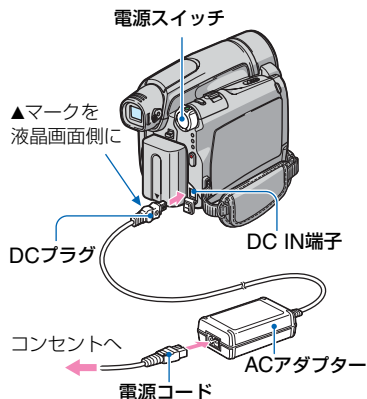
次のページへつづく➡

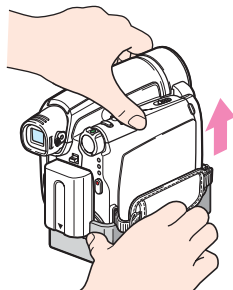
5 **本機をハンディカムステーションに図の向きで奥まで確実に取り付ける。**

充電ランプが点灯し、充電が始まります。充電ランプが消えると、充電が終了します(満充電)。

- 本機をハンディカムステーションに取り付けるときは、本機のDC IN端子のカバーを閉じてください。
- DCプラグをハンディカムステーションから抜くときは、DCプラグとハンディカムステーションを持って抜いてください。

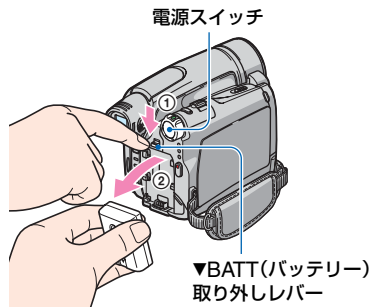
ACアダプターのみで充電するには

電源スイッチを「切(充電)」にした状態で、本機のDC IN端子に直接ACアダプターをつないで充電する。

- 図のように接続して、コンセントからの電源で本機を使うこともできます。バッテリーを取り付けたままでもバッテリーは消耗しません。

本機をハンディカムステーションから取り外すには

電源スイッチを「切(充電)」にして、本機とハンディカムステーションを持って取り外す。

バッテリーを取り外すには

① 電源スイッチを「切（充電）」にして、一方の手で、▼BATT（バッテリー）取り外しレバーを押し下げたままにする。

② もう片方の手で、バッテリーを矢印の方向へ取り外す。

保管するときは

長い間使わないときは、バッテリーを使い切ってから保管する（112ページ）。

充電時間

使い切った状態からのおよその時間（分）。

バッテリー型名	満充電時間
NP-FP50（付属）	125
NP-FP70	155
NP-FP71	170
NP-FP90	220

撮影可能時間

満充電からのおよその時間（分）。

バッテリー型名	連続撮影時	実撮影時*
NP-FP50（付属）	80	45
	85	45
	90	50
NP-FP70	170	95
	185	100
	190	105
NP-FP71	200	110
	220	120
	230	125
NP-FP90	300	165
	335	185
	345	190

- それぞれの時間は、次の条件によるものです。
  上段：液晶画面バックライトが「入」のとき
  中段：液晶画面バックライトが「切」のとき
  下段：液晶画面を閉じてファインダーを使用したとき

* 実撮影時とは、録画スタンバイ、電源スイッチの切り換え、ズームなどを繰り返したときの時間です。

準備する

次のページへつづく➡

再生可能時間

満充電からのおよその時間（分）。

バッテリー型名	液晶画面で再生*	液晶画面を閉じて再生
NP-FP50（付属）	115	140
NP-FP70	240	295
NP-FP71	290	350
NP-FP90	435	525

* 液晶画面バックライトが「入」のとき

バッテリーについて

- バッテリーの交換は、電源スイッチを「切（充電）」にしてから行ってください。
- 次のとき、充電中の充電ランプが点滅したり、バッテリーインフォ（26ページ）が正しく表示されないことがあります。
  - バッテリーを正しく取り付けていないとき
  - バッテリーが故障しているとき
  - バッテリーが劣化しているとき（バッテリーインフォ表示のみ）
- 電源コードをコンセントから抜いても、ACアダプターが本機やハンディカムステーションのDC IN端子につながれている限り、バッテリーからは電源供給されません。

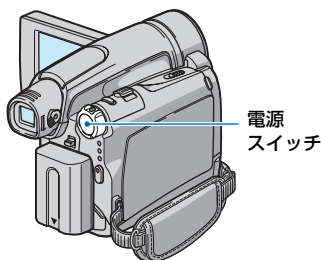
充電/撮影/再生時間について

- 25℃（10℃〜30℃が推奨）で使用したときの時間です。
- 低温の場所で使うと、撮影/再生時間はそれぞれ短くなります。
- 使用状態によって、撮影/再生可能時間が短くなります。

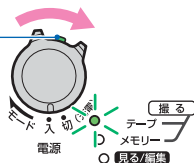
ACアダプターについて

- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプターのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

準備3:電源を入れて正しく持つ

撮影や再生時は、電源スイッチを操作して、ランプを点灯させます。
初めて電源を入れると自動的に[日時あわせ]画面になります(16ページ)。

1 **電源スイッチを矢印の方向に繰り返しずらして、使用するモードのランプを点灯させる。**

「撮る−テープ」または「撮る−メモリー」にしたときはレンズカバーが開きます。

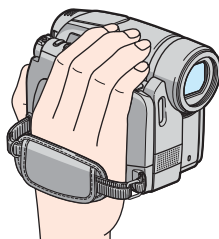
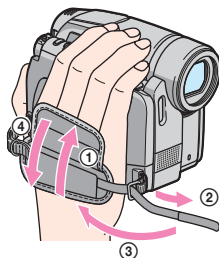
「切(充電)」から電源を入れるときのみ、緑のボタンを押しながらずらす。

点灯させるランプ

「撮る−テープ」:テープに撮影時

「撮る−メモリー」:"メモリースティック デュオ"に撮影時

「見る/編集」:再生や編集時

- [日時あわせ](16ページ)を行った後で本機の電源を入れると、液晶画面に現在の日時が数秒間表示されます。

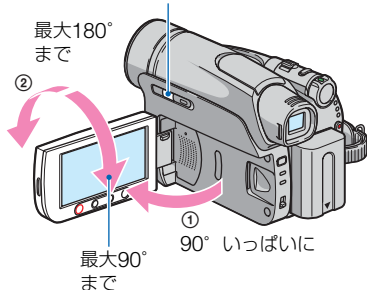
2 **本機を正しく構える。**

3 **グリップベルトをしっかりと締める。**

電源を切るには

電源スイッチをずらして、「切(充電)」にする。

- お買い上げ時は、電源を入れて何もしない状態が約5分続くと、バッテリー消耗防止のため、自動的に電源が切れます([自動電源オフ]、57ページ)。
- お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください(104ページ)。

準備 4：液晶画面とファインダーを調節する

液晶画面を見やすく調節する

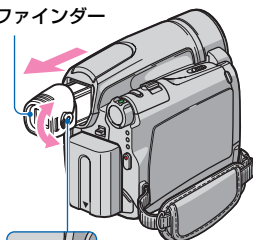
液晶画面を90°まで開き（①）、見やすい角度に調節する（②）。

- 液晶画面を開閉するときや、角度を調節するときに、液晶画面の下にあるボタンを誤って押さないよう、ご注意ください。
- 液晶画面をレンズ側に180°回転させると、外側に向けて本体に収められます。再生時に便利です。

液晶画面バックライトを消してバッテリーを長持ちさせるには

画面表示/バッテリーインフォボタンを が表示されるまで数秒間押したままにする。明るい場所で使うときや、バッテリーを長持ちさせるときに効果的です。録画される画像には影響ありません。
解除するにはもう1度 が消えるまで押したままにする。

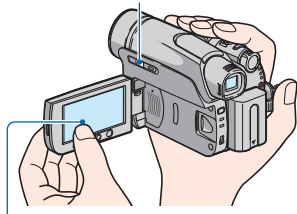
- 液晶画面の明るさは、[パネル･VF設定]－[パネル明るさ]（54ページ）で調節できます。

ファインダーを見やすく調節する

バッテリー切れが心配なときや液晶画面で画像を見づらいときなどは、液晶画面を閉じて、ファインダーで画像を見ることもできます。

- ファインダーのバックライトの明るさは、メニューの[パネル･VF設定]－[VFバックライト]で設定できます（55ページ）。
- ファインダーを見ながら、[フェーダー]や[カメラ明るさ]を調節できます（49ページ）。

準備 5：タッチパネルを操作する

撮影した画像を再生するときや（23ページ）、メニューで設定を変更するとき（36ページ）は、液晶画面をタッチして操作します。

液晶画面の背面を手で支えながら画面上のボタンを指で軽くタッチする（触れる）。

画面のボタンをタッチする

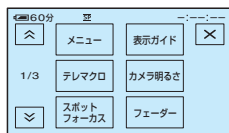
- 液晶画面の下にあるボタンを押すときも同様に操作します。
- 液晶画面をタッチして操作するときに、液晶画面の下にあるボタンを誤って押さないようにご注意ください。
- 反応するボタンの位置がずれているときは、画面調節（キャリブレーション）してください（115ページ）。

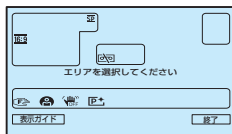
画面表示を消したいときは

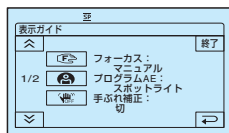
画面表示/バッテリーインフォボタンを押すたびに、タイムコードなどの情報が、表示⟷非表示と切り換わる。

画面表示を確認する（表示ガイド）

画面に出ている表示（30ページ）の意味を簡単に確認できます。

1 P.メニュー をタッチする。

シンプル操作中は［メニュー］をタッチしてください（20ページ）。

2 ［表示ガイド］をタッチする。

設定されている内容によって、表示項目が異なります。

3 確認したい表示が入っているエリアをタッチする。

エリアにある表示の意味が一覧で表示されます。確認したい表示が見つからないときは、［∧］/［∨］をタッチして表示させてください。
［↩］をタッチするとエリア選択画面に戻ります。

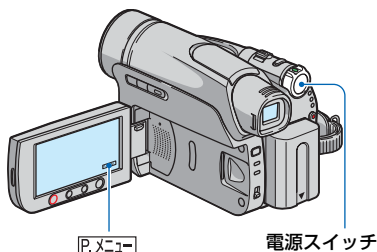
終了するには

［終了］をタッチする。

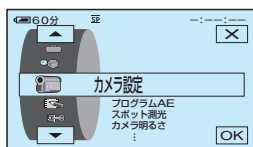
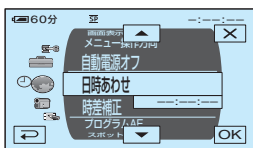
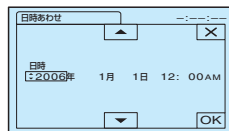
準備する

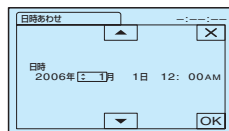
準備 6：日付時刻を合わせる

初めて電源を入れたときは日付、時刻を設定してください。設定しないと、電源を入れたり、電源スイッチを切り換えるたびに[日時あわせ]画面が表示されます。

- **3か月**近く使わないでおくと内蔵の充電式電池が放電して、日付、時刻の設定が解除されます。充電式電池を充電してから設定し直してください（116ページ）。

初めて時計を合わせるときは、手順**4**から操作してください。

1 P. メニュー→[メニュー]をタッチする。

2 ▲/▼で 時間設定メニューを選び、OK をタッチする。

3 ▲/▼で[日時あわせ]を選び、OK をタッチする。

4 ▲/▼で[年]を合わせ、OK をタッチする。

2079年まで設定できます。

5 同様に、[月]、[日]、時、分を合わせ、OK をタッチする。

真夜中は12:00AM、正午は12:00PMです。
時計が動き始めます。

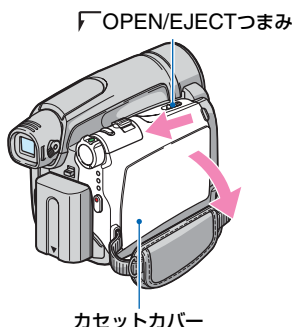
- 日付時刻は撮影時には表示されません。自動的にテープに記録され、再生時に表示させることができます（[日時/カメラデータ表示]（シンプル操作時は[日時データ表示]）、55ページ）。

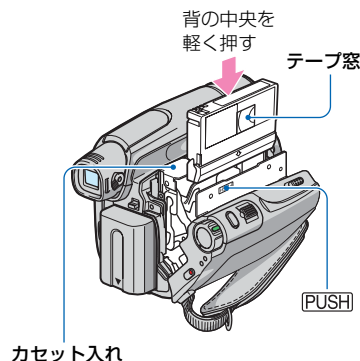
準備7:カセットや"メモリースティック　デュオ"を入れる

カセットを入れる

Mini DV マーク付きミニDVカセットのみ使えます(109ページ)。

- [録画モード]によって、録画可能時間は異なります(54ページ)。

1 ⌐OPEN/EJECTつまみを矢印の方向にずらしたまま、カセットカバーを開ける。

カセット入れが自動的に出て開きます。

2 テープ窓を外側にして、カセットを入れ、PUSH マークを押す。

カセット入れが自動的に収納されます。

- カセット入れが引き込まれているときに DO NOT PUSH の刻印部分を押さないでください。無理に押し込むと故障の原因になります。

3 カセットカバーを手で閉める。

カセットを取り出すには

手順**1**と同じ操作でカセットカバーを開けて、カセットを取り出す。

- 本機をハンディカムステーションにとりつけたまま、ビデオカセットを出し入れしないでください。故障の原因になります。

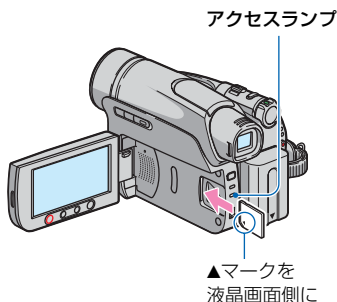
準備する

"メモリースティック　デュオ"を入れる

MEMORY STICK DUO、MEMORY STICK PRO DUO マーク付き"メモリースティック　デュオ"のみ使えます(110ページ)。

- 画質や画像サイズによって撮影可能枚数、時間は異なります。撮影枚数/時間については46ページをご覧ください。

1 液晶画面を開ける。

2 "メモリースティック　デュオ"を正しい向きに、「カチッ」というまで押し込む。

- 誤った向きで無理に入れると、"メモリースティック　デュオ"や"メモリースティック　デュオ"スロット、画像データが破損することがあります。

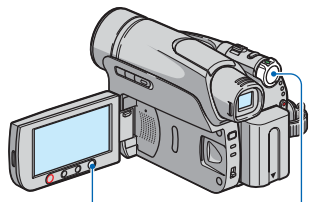
"メモリースティック　デュオ"を取り出すには

"メモリースティック　デュオ"を軽く1回押し、本体に沿ってすべらせるように取り出す。

- "メモリースティック　デュオ"を指でつまんで無理に取り出さないでください。破損の原因になります。
- アクセスランプの点灯中や点滅中は、データの読み込みや書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、"メモリースティック　デュオ"やバッテリーを取り外したりしないでください。画像データが壊れることがあります。
- 出し入れ時には"メモリースティック　デュオ"の飛び出しにご注意ください。

準備 8：撮影する画像の比率（ワイド /4:3）を選ぶ

ワイド（16:9）で撮影すると、広角、高画質の画像を楽しむことができます。

- ワイドテレビで楽しみたい場合は、ワイド（16:9）で撮影することをおすすめします。

テープに撮る動画の比率を選ぶ

電源スイッチが「撮る－テープ」になっていることを確認してください。

ワイド切換ボタンを繰り返し押して、希望の設定にする。

ワイド（16:9）のとき*　　4:3のとき*

* 液晶画面で見たときの見えかた。ファインダーで見たときとは異なります。

- 4:3とワイド（16:9）での画角の差は、ズームの位置によって異なります。
- テレビで見るときは、メニューの［TVタイプ］で、お使いのテレビに合った画像の比率を設定できます（35ページ）。
- ワイド（16:9）で撮影した画像を［TVタイプ］を［4:3］に設定して見ると、被写体によっては画像が粗く見えることがあります（35ページ）。

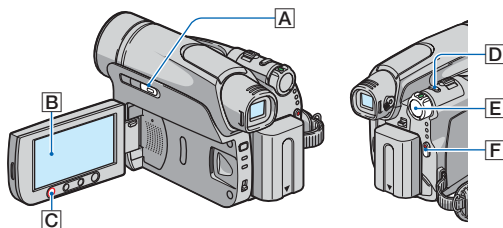
“メモリースティック　デュオ”に動画または静止画を記録したいときは

① 電源スイッチを「撮る－メモリー」にする。
　画像の比率が 4:3 に切り換わります。

② ワイド切換ボタンを押して、希望の設定にする。

- 静止画の画像サイズはワイド（16:9）のとき［2.3M］（2.3M）、4:3では最大で［3.0M］（3.0M）になります。
- ワイド（16:9）で撮影した静止画をお店でプリントするときは、注文時に「ハイビジョンサイズ」とご指定ください。ご指定がない場合、画像の左右が切れてプリントされます。
- ワイド（16:9）で動画（MPEGムービーEX）を撮影すると、再生画像の上下に帯が入ります。
- 撮影枚数については、46ページをご覧ください。

かんたんに撮って見る(シンプル操作)

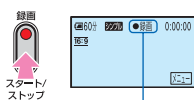
ほとんどの設定を自動化するので、細かい設定なしに簡単に撮影、再生できます。
また、文字も大きく見やすくなります。

動画を撮る

1 電源スイッチEで「撮る−テープ」ランプを点灯させる。

「切(充電)」から電源を入れるときのみ、緑のボタンを押しながらずらす。

2 シンプルボタンAを押す。

シンプル が液晶画面Bに表示される。

3 録画スタート/ストップボタンF(またはC)を押して撮影を開始する。*1

[スタンバイ]→[● 録画]

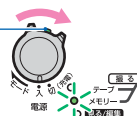
もう1度押すと、録画ストップ。

静止画(4:3)を撮る

1 電源スイッチEで「撮る−メモリー」ランプを点灯させる。

「切(充電)」から電源を入れるときのみ、緑のボタンを押しながらずらす。

2 シンプルボタンAを押す。

シンプル が液晶画面Bに表示される。

3 フォトボタンDを押して撮影する。*2

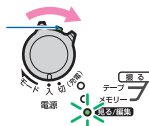
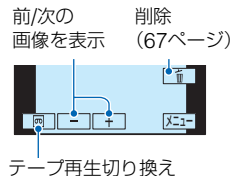
軽く押してピント合わせ　点滅→点灯　深く押して撮影

▮▮▮▮が消えると記録される。

*1 動画はテープにSP(標準)モードで記録されます。

*2 静止画は"メモリースティック デュオ"に、画質[ファイン]で記録されます。

撮影した動画/静止画を見る

電源スイッチEで「見る/編集」ランプを点灯させ、液晶画面Bをタッチして見る。

シンプル操作をやめるには

シンプルボタンAをもう1度押す。液晶画面の シンプル 表示が消える。

シンプル操作中のメニュー設定

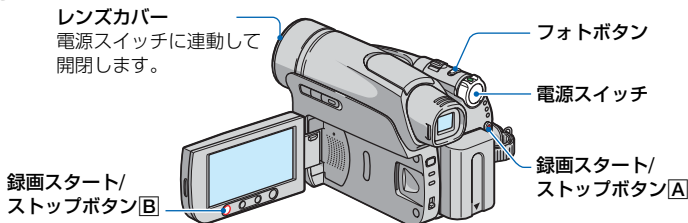
[メニュー]をタッチすると設定可能なメニューが表示されます。
詳しい設定方法は37ページをご覧ください。

- ほとんどのメニュー項目はお買い上げ時の設定に自動で戻ります(38ページ)。
- シンプル操作中は P.メニュー ボタンは表示されません。
- 画像に効果を加えたり、いろいろな設定をしたいときはシンプル操作を解除してください。シンプル操作前の設定に戻ります。

シンプル操作中は使えないボタン

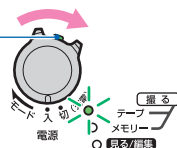
ほとんどの機能は自動設定されるため、次のボタンは使えません。使用不能のボタンを押すと、「シンプル操作中は無効です」とメッセージが出ることもあります。

- 逆光補正ボタン(25ページ)
- 画面表示/バッテリーインフォボタンの長押し(14ページ)
- ワイド切換ボタン(「撮る－メモリー」時)(19ページ)
- フォトボタン(「撮る－テープ」時)(22ページ)
- 録画スタート/ストップボタン(「撮る－メモリー」時)(22ページ)

撮る

1 **電源スイッチを矢印の方向に繰り返しずらして、使用するモードのランプを点灯させ、記録するメディアを選ぶ。**

テープのとき：「撮る－テープ」ランプを点灯

"メモリースティック　デュオ"のとき：「撮る－メモリー」ランプを点灯

「切（充電）」から電源を入れるときのみ、緑のボタンを押しながらずらす。

2 **撮影を始める。**

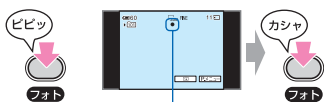
動画のとき

録画スタート/ストップボタンA（またはB）を押す。

［スタンバイ］（テープのみ）→［● 録画］

"メモリースティック　デュオ"に記録した動画（MPEGムービーEX）の音声はモノラルになります。

静止画のとき

フォトボタンを軽く押してピントを合わせ、深く押す。

軽く押してピント合わせ　点滅→点灯　深く押して撮影

「カシャ」と鳴り、▮▮▮▮が消えると記録される。

動画撮影を止める

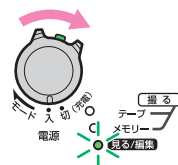
録画スタート/ストップボタンをもう1度押す。

- テープに動画を撮影中や、スタンバイ中にフォトボタンを深く押すと、"メモリースティック　デュオ"に静止画を撮影できます。
  「撮る－テープ」の画像の比率が16:9のときは［0.2M］で、4:3のときは［VGA（0.3M）］で記録されます。

"メモリースティック　デュオ"に記録した画像をすぐに確認する

［⟲］をタッチする。画像を消すには、［🗑］→［はい］をタッチする。

見る

1 **電源スイッチを矢印の方向に繰り返しずらして、「見る/編集」ランプを点灯させる。**

2 **再生を始める。**

動画のとき

テープのときは:
[◀◀] をタッチして見たい位置まで巻戻し、[▶ II] をタッチして再生する。

再生/一時停止*

停止　巻戻し/早送り

* タッチするたびに切り換わります。一時停止が3分以上続くと、自動的に停止します。

"メモリースティック　デュオ"のときは:
[メモリー]→[－]/[＋]の順にタッチし、(動画)のファイルで[MPEG▶II]をタッチする。

静止画のとき

[メモリー]をタッチする。
最後に撮影した画像が表示される。

テープ再生切り換え

前/次の画像を表示　一覧表示

- テープ再生に切り換えるときは [テープ] をタッチします。
- "メモリースティック　デュオ"に画像が入っていないときには、[メモリー]は表示されません。

動画の音量を調節する

[P.メニュー]→[音量]の順にタッチし、[－]/[＋]をタッチし調節する。

- [P.メニュー]で見つからないときは、[メニュー]から選びます(36ページ)。

動画を見ながら場面を探す

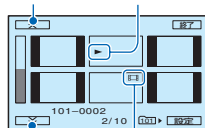
再生中に[▶▶]/[◀◀]をタッチしたままにする(ピクチャーサーチ)。
早送り中に見るときは[▶▶]を、巻戻し中は[◀◀]をタッチしたままにする(高速アクセス)。

- テープは[変速再生]できます(53ページ)。

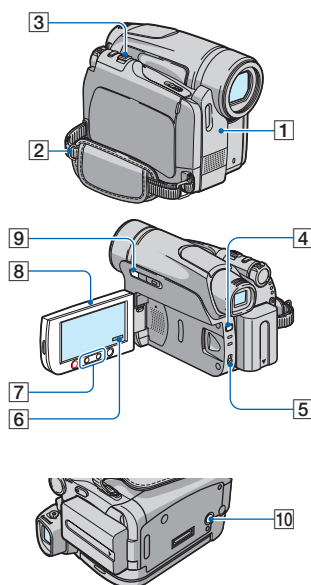
"メモリースティック　デュオ"の画像を一覧表示する(インデックス表示)

[ ]をタッチする。いずれかの画像をタッチすると1枚表示になる。

インデックス表示時の画面

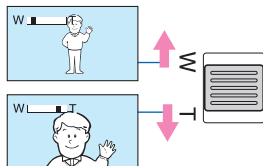
前の6枚　一覧表示前の画像

次の6枚　動画ファイル

別フォルダの画像を見るときは、[ ]→[設定]→[再生フォルダ選択]をタッチし、[▲]/[▼]で選び[OK]をタッチする(48ページ)。

撮る/見るときに使う機能など

撮るとき

ズームする.............................. 3 7

ズームレバー3を軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームする。

広角:Wide(ワイド)

望遠:Telephoto(テレフォト)

- 液晶画面の下のズームボタン7ではズームする速さを変えることはできません。
- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。
- 倍率が10倍を超えたときに、[デジタルズーム](44ページ)できます。
- ズームレバーから指を離さずに操作してください。指を離すとズームレバーの操作音が記録されることがあります。

フラッシュを使う 4

ϟ(フラッシュ)ボタンを繰り返し押して、お好みの設定を選ぶ。

表示なし(自動調節):撮影状況により光量が足りないと判断した場合、自動的に発光する。

↓

ϟ **(強制発光)**:周囲の明るさに関係なく、常に発光する。

↓

⊘ **(発光禁止)**:常に発光しない。

- 内蔵フラッシュの推奨撮影距離は0.3m〜2.5mです。
- フラッシュ表面に付着した汚れは取り除いて使ってください。光による熱で汚れが変色したり、貼り付くなどしてフラッシュが充分な量を発光できなくなることがあります。
- フラッシュランプはフラッシュ充電中に点滅し、充電が完了すると点灯に変わります。(電源スイッチが「撮る−テープ」のとき、フラッシュ撮影に必要な充電をするため、少し時間がかかります)。
- 逆光時など明るい場所では、強制発光を行ってもフラッシュ効果が得られにくいことがあります。
- コンバージョンレンズ(別売り)を付けていると、コンバージョンレンズの影が映ることがあります。
- [フラッシュ設定]の[フラッシュレベル]で発光量を手動で変えたり、[赤目軽減]で目が赤く写るのを抑制したりできます(43ページ)。

暗い場所で撮る(NightShot)......... 5

NIGHTSHOTスイッチ5を「入」にする。(◙ と["NIGHTSHOT"]が表示される。)

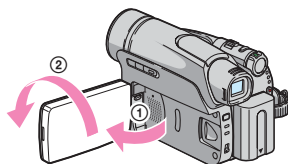
- さらに高感度で撮影するにはSuper NightShot(43ページ)、薄暗い場所でも明るくカラーで撮影するにはColor Slow Shutter(43ページ)が使えます。

- NightShotとSuper NightShotは赤外線を利用するため、赤外線発光部[1]を指などで覆わず、コンバージョンレンズ(別売り)は外してください。
- ピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください([フォーカス]、42ページ)。
- 明るい場所で使うと、故障の原因になります。

逆光を補正する(逆光補正)............ [9]
逆光補正ボタン[9]を押すと、が表示されて補正される。解除するには、もう1度押す。

画面中央にない被写体にピントを合わせる(スポットフォーカス)............ [6]
[スポットフォーカス]をご覧ください(42ページ)。

被写体を基準に明るさ調節する(フレキシブルスポット測光).................... [6]
[スポット測光]をご覧ください(40ページ)。

自分撮り(対面撮影)する.............. [8]
液晶画面[8]を90°まで開き(①)、レンズ側に180°回す(②)。

- 液晶画面には、左右反転で映りますが、実際には左右正しく録画されます。

三脚を使って撮る........................ [10]
三脚(別売り、ネジの長さが5.5mm以下)を三脚用ネジ穴[10]に取り付ける。

ショルダーベルトを使う.............. [2]
ショルダーベルト(別売り)をショルダーベルト取り付け部[2]に取り付ける。

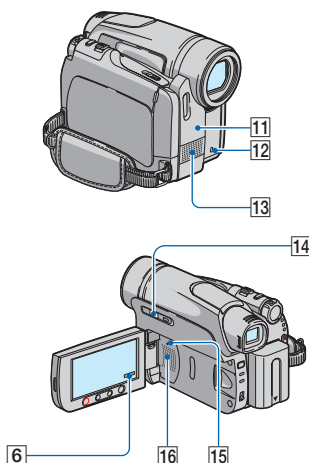
見るとき

静止画を連続再生する(スライドショー)...................................... [6]
[スライドショー]をご覧ください(49ページ)。

再生ズームする........................ [3][7]
画像を1.1~5倍の範囲でズームできる。
倍率はズームレバー[3]または液晶画面の下のズームボタン[7]で調整する。

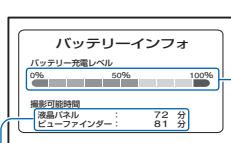
① 拡大したい画像を表示する。
② T(望遠)で画像を拡大する。
③ 画面中央に表示したい部分をタッチする。
④ W(広角)/ T(望遠)で画像の大きさを調節する。

終了するには、[終了]をタッチする。

- 液晶画面の下のズームボタン[7]ではズームする速さを変えることはできません。

撮る/見る共通

バッテリーの残量を確認する(バッテリーインフォ) 14

電源スイッチを「切(充電)」にしたあと、画面表示/バッテリーインフォボタン14を押すと、バッテリーの情報が約7秒間表示される。情報が表示されている間にもう1度ボタンを押すと、最大20秒まで表示を延長できる。

おおよそのバッテリー残量

おおよその撮影可能時間

操作音を消す(操作音) 6

[操作音]をご覧ください(56ページ)。

画像に演出を加える 6

ピクチャーアプリメニューをご覧ください(48ページ)。

お買い上げ時の設定に戻す(リセット) 15

RESET(リセット)ボタン15を押すと、日時を含めすべての設定が解除される。(パーソナルメニューに設定した内容は解除されません。)

その他の部分の名前とはたらき

11 リモコン受光部

リモコン(32ページ)は、リモコン受光部に向けて操作します。

12 録画ランプ

録画時に赤く点灯します(56ページ)。

- テープやバッテリーの残量が少なくなると点滅します。

13 内蔵ステレオマイク

アクティブインターフェースシュー対応マイクをつないだときは、その音声が優先されます(65ページ)。

16 スピーカー

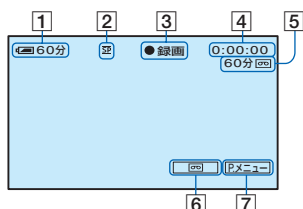
再生時の音声が聞けます。

- 音量調節については、23ページをご覧ください。

撮る／見るときの画面表示

( )内は参照ページ。
撮影中の画面表示は録画されません。

動画を撮影中

「撮る－テープ」モードのとき

1 バッテリー残量の目安

2 録画モード(SP または LP)(54)

3 撮影状態([スタンバイ]/[● 録画])

4 撮影中:テープカウンター(時:分:秒)
再生中:テープカウンター(時:分:秒)/タイムコード(時:分:秒:フレーム)

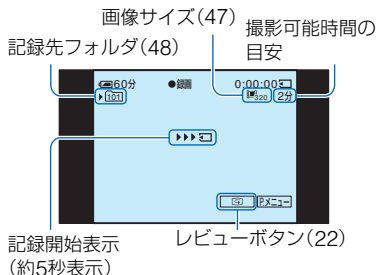
5 テープ残量の目安(56)

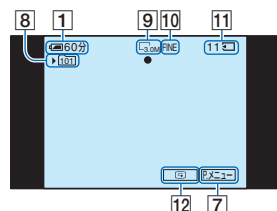
6 エンドサーチ／エディットサーチ／レックレビュー画面切り換えボタン(31)

7 パーソナルメニューボタン(36)

「撮る－メモリー」モードのとき

画像サイズ(47)
撮影可能時間の目安
記録先フォルダ(48)

記録開始表示
(約5秒表示)

レビューボタン(22)

静止画を撮影中

8 記録先のフォルダ(48)

9 画像サイズ(19、46)

10 画質(FINEまたはSTD)(46)

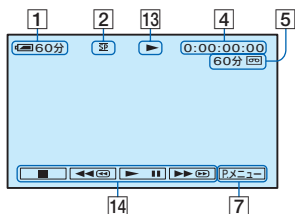
11 “メモリースティック　デュオ”表示と記録可能なおよその枚数

12 レビューボタン(22)

撮影時のデータについて

撮影中の日付時刻と撮影条件を示したカメラデータが自動的に記録されます。
これらのデータは、撮影中には表示されませんが、再生時に[日時/カメラデータ表示]として確認できます(55ページ)。

動画を再生中

テープのとき

13 テープ走行表示

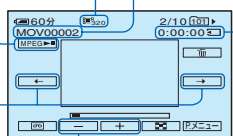
14 ビデオ操作ボタン(23)

“メモリースティック デュオ”のとき

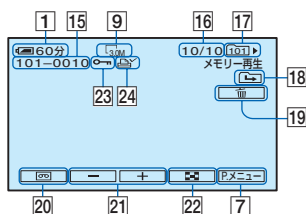
画像サイズ(47)

再生/一時停止ボタン(23)

データファイル名

再生時間

前の画像/次の画像ボタン(23)

前の場面/次の場面
1つの動画データは自動で最大60場面に分割されます。録画時間によって、分割数は異なります。頭出し後に MPEG►II をタッチして再生できます。

静止画を再生中

15 データファイル名

16 再生中の画像番号 / フォルダ内の合計枚数

17 再生フォルダ(48)

18 前後フォルダ表示

“メモリースティック デュオ”内に複数のフォルダがあるとき、フォルダ内の最初/最後の画像になると表示される。

：− で前フォルダへ

：＋ で次フォルダへ

：−/＋ で前/次フォルダへ

19 画像消去ボタン(67)

20 テープ再生切り換えボタン(23)

21 前の画像 / 次の画像ボタン(23)

22 インデックス表示ボタン(23)

23 プロテクト(68)

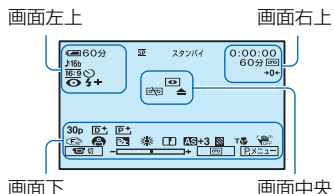
24 プリントマーク(68)

撮る/見る

次のページへつづく➡

設定を変更したときの表示

[表示ガイド]で、各表示の説明を液晶画面でも確認できます（[表示ガイド]、15ページ）。

- 一部、[表示ガイド]で表示されないものがあります。

画面左上

表示	意味
♪16b	音声モード（54）
BRK	連写（45）
	セルフタイマー録画（44）
16:9	ワイド（16:9）切換（19）
	インターバル静止画記録（52）
	フラッシュ（43）
	コマ撮り（51）

画面右上

表示	意味
A/V▸DV	A/V入力→DV出力（55、82）
DV IN	DV入力（62）
DV OUT	DV出力（60）
i.LINK	i.LINK接続（60、62）
→0←	ゼロセットメモリー（32）
all 1	スライドショー（49）
OFF	液晶バックライト 切（14）

画面中央

表示	意味
	NightShot（24）
S	Super NightShot（43）
	Color Slow Shutter（43）
	PictBridge接続中（69）
	警告（103）

画面下

表示	意味
AS	AEシフト（42）
P	ピクチャーエフェクト（50）
D	デジタルエフェクト（49）
	手動フォーカス（42）
	プログラムAE（40）
	シャープネス（41）
	逆光補正（25）
	ホワイトバランス（41）
OFF	手ぶれ補正（44）
30p	プログレッシブ記録（44）
	ゼブラ（44）
T	テレマクロ（42）
	フレキシブルスポット測光（40）/カメラ明るさ（41）
切	液晶画面切（49）

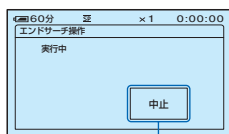
その他の表示

表示	意味
	お知らせメッセージ（104）

撮影を始めるテープ位置を頭出しする

電源スイッチを「撮る－テープ」にして操作してください（22ページ）。

最後に録画した場面を頭出しする（エンドサーチ）

カセットをいったん取り出すと、エンドサーチは働きません。

→ →I をタッチする。

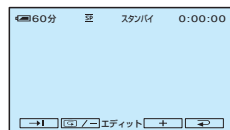
中止するには
ここをタッチする

最後に録画した場面の約5秒間が再生され、録画終了した場面でスタンバイになる。

- テープの途中に無記録部分があると、正しく働かない場合があります。
- メニューからも［エンドサーチ操作］できます。電源ランプの位置が「見る/編集」のときは、パーソナルメニュー（36ページ）にショートカットがあります。

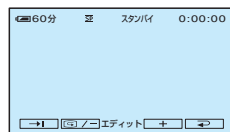
撮影を始める位置を探す（エディットサーチ）

画面を確認しながら、次に撮影開始する位置を探せます（音は出ません）。

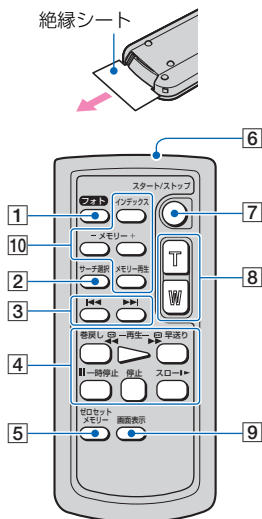
1 をタッチする。

2 /−（場面を戻す）/ +（場面を進める）をタッチし続け、録画を開始したい位置に来たら離す。

テープを停止した場面を確認する（レックレビュー）

テープを停止させた場面を約2秒間再生し、確認できます。

→ /− をタッチする。

停止した部分が約2秒間再生され、スタンバイに戻る。

リモコンで使う

絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。

[1] フォトボタン *1(20、22 ページ)
押したときの画像が静止画として“メモリースティック　デュオ”に記録されます。

[2] サーチ選択ボタン(33 ページ) *2

[3] ⏮ ⏭ ボタン *2

[4] ビデオ操作ボタン(巻戻し、再生、早送り、一時停止、停止、スロー)
(23 ページ)

[5] ゼロセットメモリーボタン *2

[6] リモコン発光部

[7] 録画スタート / ストップボタン
(20、22 ページ)

[8] ズームボタン(24、25 ページ)

[9] 画面表示ボタン(15 ページ)

[10] メモリー操作ボタン(インデックスボタン *2、− / ＋ボタン、メモリー再生ボタン)(23 ページ)

*1シンプル操作中に電源スイッチを「撮る−テープ」にしたときは働きません。
*2シンプル操作中は働きません。

- 本体前面のリモコン受光部に向けて操作してください(26ページ)。
- 電池交換については、116ページをご覧ください。

見たい場面にすばやく戻す(ゼロセットメモリー)

1 再生中に後で頭出ししたい場面で、ゼロセットメモリーボタン[5]を押す。

テープカウンターが「0:00:00」になり、➔0← が点灯する。

テープカウンターが表示されないときは、画面表示ボタン[9]を押す。

2 見終わったら、停止ボタン[4]を押す。

3 ◀◀巻戻しボタン[4]を押す。

「0:00:00」付近になると、自動的に停止する。
テープカウンターがタイムコード表示に戻り、ゼロセットメモリー表示が消える。

4 再生ボタン[4]を押す。

「0:00:00」の場面からもう1度再生する。

ゼロセットメモリーを解除するには

巻き戻す前にゼロセットメモリーボタンをもう1度押す。

- タイムコードとテープカウンターに多少誤差が生じることがあります。
- テープの途中に無記録部分があると、正しく働かないことがあります。

撮影日でテープを頭出しする（日付サーチ）

撮影日の変わり目を頭出しできます。

1 **電源スイッチを繰り返しずらして、「見る/編集」ランプを点灯させる。**

2 **サーチ選択ボタン2を押す。**

3 **⏮（前の日付）/⏭（後の日付）ボタン3を押して頭出しする。**

日付サーチを中止するには

停止ボタン4を押す。

- テープの途中に無記録部分があると、正しく働かないことがあります。

テレビで見る

本機とテレビやビデオをAV接続ケーブル（1）、またはS映像ケーブル付きのAV接続ケーブル（2）でつなぎます。テレビやビデオ側は入力端子につなぎます。本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください（9ページ）。また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- 本機をハンディカムステーションに取り付けたまま、ビデオカセットを出し入れしないでください。故障の原因になります。

1 **AV 接続ケーブル（付属）**

A/V端子はハンディカムステーションおよび本機にそれぞれ装備しています（71ページ）。AV接続ケーブルは、ハンディカムステーション、または本機のどちらか一方に接続してください。

2 **S 映像ケーブル付きの AV 接続ケーブル（別売り）**

S（またはS1/S2）映像端子のある機器につなぐときは、このケーブルで接続すると、付属のAV接続ケーブルに比べ、画像をより忠実に再現できます。白と赤のプラグ（左右音声端子）とS映像プラグ（S映像端子）のみ接続し、黄色いプラグ（映像端子）は接続不要です。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。

- 本機はS1映像端子対応のため、つなぐ端子がSまたはS2映像端子のときは画像が正しく表示されない場合があります。その場合、テレビの設定を変更することで改善されることがあります。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- ［画面表示出力］を［ビデオ出力/パネル］に設定すると、テレビ画面でタイムコードなどの情報を見ることができます（56ページ）。
- AV接続ケーブルは、本機とハンディカムステーションに同時につながないでください。画像が乱れることがあります。

ビデオ経由でテレビにつなぐには

ビデオの外部入力端子につなぎ、ビデオに入力切り換えスイッチがある場合は「外部入力」（ビデオ１、ビデオ２など）に切り換える。

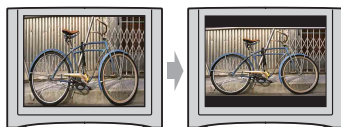
テレビ(ワイド/4:3)に合わせて画像の比率を変えるには

ご覧になるテレビに合わせて、再生時の画像の比率を設定してください。

① 本機の電源スイッチを「見る / 編集」にする。

② P.メニュー →[メニュー]→ 基本設定→[TV タイプ]→[16:9]または[4:3]→ OK をタッチする。

- ID-1/ID-2対応テレビやテレビのS(またはS1/S2)映像入力端子につないで再生する場合、[TVタイプ]を[16:9]に設定してください。テレビが自動的に再生画像の比率に切り換わります。
- [TVタイプ]を[4:3]に設定したとき、またはワイド(16:9)と4:3の映像が切り換わるとき、画面が乱れることがあります。
- 一部の4:3テレビでは、4:3で撮影した静止画がテレビ画面いっぱいに表示されないことがありますが、故障ではありません。

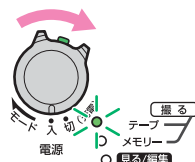
- ワイド(16:9)画像をワイド信号非対応の4:3テレビでご覧になるときは[TVタイプ]を[4:3]に設定してください。

モノラルテレビ(音声端子がひとつ)のときは

AV接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)か赤いプラグ(右音声)のどちらかを音声入力へつなぐ。

メニューの使いかた

このページ以降のメニューは、下記の方法で操作してください。

1 電源スイッチを矢印の方向に繰り返しずらして、使用するモードのランプを点灯させる。

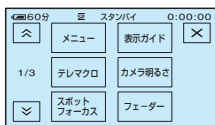
「撮る－テープ」ランプ：テープの設定
「撮る－メモリー」ランプ：
"メモリースティック　デュオ"の設定
「見る/編集」ランプ：見る/編集の設定

2 液晶画面をタッチして、項目を設定する。

灰色に表示されるメニューは、使用できません。

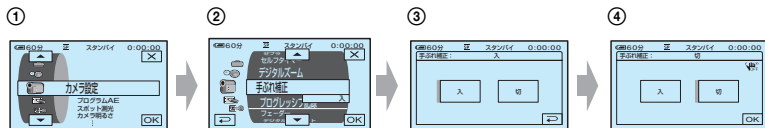
■ パーソナルメニューのショートカットを使うときは

パーソナルメニューには、よく使うメニューへのショートカットが登録されています。

- パーソナルメニューはお好みの設定に変更できます（58ページ）。

① P.メニュー をタッチ。

② 希望の項目をタッチ。
画面にないときは、⌃/⌄ をタッチして表示させる。
③ 希望の設定にして、OK をタッチ。

■ メニューを使うときは

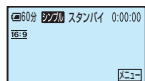
パーソナルメニューに登録されていないメニュー項目も設定できます。

① P.メニュー →［メニュー］の順にタッチ。
メニューインデックス画面が表示される。
② 設定するメニューを選ぶ。
▲/▼ をタッチして選び、OK をタッチして決定する。（手順③も同様の操作です。）

③ 設定する項目を選ぶ。

- 設定する項目をタッチしても選べます。

④ 希望の設定にする。
設定し終わったら、OK→✕（閉じる）の順にタッチして、メニュー画面を消す。
設定を変更しないで戻るときは、↩をタッチ。

■ シンプル操作中にメニューを使うときは

シンプル操作中はP.メニューは表示されません（21ページ）。

① ［メニュー］をタッチ。
設定可能なメニューが表示される。
② 設定するメニューをタッチ。
③ 希望の設定にする。
設定し終わったら、OKをタッチ。
設定を変更しないで戻るときは、↩をタッチ。

- 通常のメニュー操作をするには、シンプル操作を解除する（21ページ）。

メニュー一覧

ランプの点灯位置によって、使用可能(●)メニューが異なります。
シンプル操作時は、下記の設定に自動設定されます(20ページ)。

	テープ	メモリー	見る/編集	シンプル操作時
カメラ設定メニュー(40ページ)				
プログラムAE	●	●	–	オート
スポット測光	●	●	–	–
カメラ明るさ	●	●	–	オート
ホワイトバランス	●	●	–	オート
シャープネス	●	●	–	–
オートシャッター	●	–	–	入
AEシフト	●	●	–	切
スポットフォーカス	●	●	–	–
フォーカス	●	●	–	オート
テレマクロ	●	●	–	切
フラッシュ設定	●	●	–	ϟ *2/切
SUPER NS	●	–	–	切
NS ライト	●	●	–	入
COLOR SLOW S	●	–	–	切
ゼブラ	●	●	–	切
セルフタイマー	●	●	–	●*1
デジタルズーム	●	–	–	切
手ぶれ補正	●	–	–	入
プログレッシブ記録	●	–	–	切
メモリー設定メニュー(45ページ)				
静止画設定	–	●	●	切/ファイン/●
ムービー設定	–	●	●	–
全消去	–	–	●	●
フォーマット	–	●	●	–
ファイルナンバー	–	●	●	連番
フォルダ作成	–	●	●	–
記録フォルダ選択	–	●	●	–*2
再生フォルダ選択	–	–	●	–*2
ピクチャーアプリメニュー(48ページ)				
フェーダー	●	–	–	切
スライドショー	–	–	●	–
デジタルエフェクト	●	–	●	切
ピクチャーエフェクト	●	–	●	切
コマ撮り	●	–	–	切
スムーズインターバル録画	●	–	–	–
インターバル静止画記録	–	●	–	切
デモモード	●	–	–	入
PictBridge プリント	–	–	●	–
USB機能選択	–	–	●	●

*1「撮る－テープ」のときは使用できません。
*2 シンプル操作前の設定値が保持されます。

	テープ	メモリー	見る/編集	シンプル操作時
編集/変速再生メニュー(53ページ)				
変速再生	－	－	●	－
録画操作	－	－	●	－
アフレコ操作	－	－	●	－
ムービー録画操作	－	－	●	－
DVD作成	－	－	●	－
ビデオCD作成	－	－	●	－
エンドサーチ操作	●	－	●	－
基本設定メニュー(54ページ)				
録画モード	●	－	●	SP
音声モード	●	－	●	12BIT
音量	－	－	●	●
バイリンガル	－	－	●	切
音声ミックス	－	－	●	－
パネル･VF設定	●	●	●	－/ノーマル/ － /ノーマル/－*2
A/V入力→DV出力	－	－	●	切
ビデオ入力	－	－	●	－*2
TVタイプ	●	●	●	－*2
USBカメラ	●	－	－	切
表示ガイド	●	●	●	●
ガイドフレーム	●	●	－	切
日時/カメラデータ表示	－	－	●	●
残量表示	●	－	●	オート
リモコン	●	●	●	入
録画ランプ	●	●	－	入
操作音	●	●	●	●
画面表示出力	●	●	●	パネル
メニュー操作方向	●	●	●	－
自動電源オフ	●	●	●	5分後
キャリブレーション	－	－	●	－
時間設定メニュー(57ページ)				
日時あわせ	●	●	●	●
時差補正	●	●	●	－*2

カメラ設定メニュー

撮影状況に合わせるための設定(カメラ明るさ/ホワイトバランス/手ぶれ補正など)

▶は、お買い上げ時の設定。
(　)内の表示が画面に出ます。
操作方法は36ページをご覧ください。

プログラム AE

場面に合わせて、効果的な画像で撮影できます。

▶オート
プログラムAEを使わずに、自動的に効果的な画像になる。

スポットライト*( )
スポットライトを浴びている人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぐ。

ソフトポートレート( )
背景をぼかして、前にいる人物や花などをソフトに引き立る。

スポーツレッスン*( )
動きの早い被写体のぶれを小さくする。

ビーチ&スキー*( )
照り返しの強い砂浜やゲレンデで、人物が陰にならなくする。

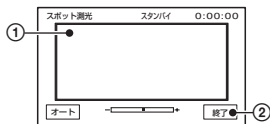
サンセット&ムーン( )**
夕焼けや夜景、花火などを雰囲気たっぷりに表現する。

風景( )**
遠景まではっきり撮影できる。ガラスや金網越しに撮るときも、向こうの被写体にピントが合うようになる。

* 近くのものにピントが合わないように設定されます。
** 遠景のみにピントが合うように設定されます。

- 電源を「切(充電)」にして12時間以上経つと、自動的に[オート]に戻ります。

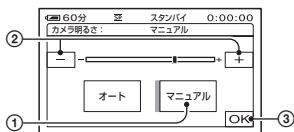
スポット測光(フレキシブルスポット測光)

被写体が最適な明るさで映るように画面全体の明るさを調節し、固定できます。舞台上の人物の撮影など、被写体と背景のコントラストが強いときに使います。

① 画面枠内の明るさを調節したいポイントをタッチ。
　が表示される。
② [終了]をタッチ。

自動調節に戻すには、[オート]→[終了]をタッチ。

- フレキシブルスポット測光中は、[カメラ明るさ]は自動的に[マニュアル]になります。
- 電源を「切(充電)」にして12時間以上経つと、自動的に[オート]に戻ります。

カメラ明るさ

画像の明るさを手動で固定できます。例えば、日中の屋内撮影時に壁側で明るさを固定すれば、窓際の人物が逆光で暗く映るのを防げます。

① [マニュアル]をタッチ。
　が表示される。

② [－]/[＋]で明るさ調節。

③ [OK]をタッチ。

自動調節に戻すには、[オート]→[OK]をタッチ。

- 液晶パネルを180°回転させ、外側に向けて閉じると、ファインダーを見ながら[カメラ明るさ]と[フェーダー]を調節できます（49ページ）。
- 電源を「切（充電）」にして12時間以上経つと、自動的に[オート]に戻ります。

ホワイトバランス

撮影する場面に合わせて色合いを調節できます。

▶オート

自動調節されます。

屋外（☀）

次の撮影環境に合った色合いになる。

– 屋外
– 夜景やネオン、花火など
– 日の出、日没など
– 昼光色蛍光灯の下

屋内（💡）

次の撮影環境に合った色合いになる。

– 屋内
– パーティー会場やスタジオなど照明条件が変化する場所
– スタジオなどのビデオライトの下、ナトリウムランプや電球色蛍光灯の下

ワンプッシュ（）

光源に合わせてホワイトバランスを固定する。

① [ワンプッシュ]をタッチ。

② 被写体を照らす照明条件と同じところに白い紙などを置き、画面いっぱいに映す。

③ []をタッチ。
　が速い点滅に変わり、ホワイトバランスが調節される。終わると点灯に変わる。

- の速い点滅中は、本機に強い衝撃を与えないでください。
- の遅い点滅は、設定できなかった場合を表します。
- [OK]をタッチ後もが点滅するときは、[オート]にしてください。

- [オート]でバッテリーを交換したときや、[カメラ明るさ]設定時に屋内外を移動したときは、白っぽい被写体に向けて[オート]で約10秒間撮影すると、より良い色合いになります。
- [ワンプッシュ]設定中に、[プログラムAE]の効果を変えたり、屋外と屋内を行き来したりしたときは、再び[ワンプッシュ]の手順を行ってください。
- 白色や昼白色の蛍光灯下では、[オート]または[ワンプッシュ]にしてください。
- 電源を「切（充電）」にして12時間以上経つと、自動的に[オート]に戻ります。

シャープネス

[－]/[＋]で画像輪郭をやわらかくするか、くっきりさせるかを調節して撮影できます。お買い上げ時の設定以外にすると、が表示されます。

やわらかな画像に　　くっきりした画像に

オートシャッター

［入］（お買い上げ時の設定）のとき、明るい場所では電気的にシャッタースピードを調節して撮影します。

AE シフト

［－］（暗く）/［＋］（明るく）で露出をお好みに合わせて調節できます。設定されている間は、AS と設定した数値が表示されます。

- 白い被写体や逆光のときは［＋］、黒い被写体や暗い場所のときは［－］をタッチすることをおすすめします。
- ［カメラ明るさ］が［オート］のときに使うと、明るさを明るめ/暗めに設定できます。

スポットフォーカス

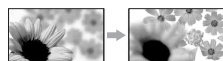
画面中央から外れた被写体を基準にして、ピントを合わせられます。

① 画面枠内の被写体にタッチ。
　が表示される。
② ［終了］をタッチ。

自動ピント合わせに戻すには、手順①で［オート］→［終了］をタッチ。

- スポットフォーカス中は、［フォーカス］が自動的に［マニュアル］になります。
- 電源を「切（充電）」にして12時間以上経つと、自動的に［オート］に戻ります。

フォーカス

手動でピントを合わせられます。ピントを合わせる被写体を意図的に変えるときにも使えます。

① ［マニュアル］をタッチ。
　が表示される。
② ［←］（近くにピント合わせ）/［→］（遠くにピント合わせ）をタッチしてピント調節。それ以上近くにピントを合わせられないときは が、それ以上遠くにピントを合わせられないときは が表示される。
③ ［OK］をタッチ。

自動ピント合わせに戻すには、手順①で［オート］→［OK］をタッチ。

- ピントは、始めにズームをＴ側（望遠）でピントを合わせてから、Ｗ側（広角）に戻してゆくと合わせやすくなります。接写時は、逆にズームをＷ側（広角）いっぱいにしてピントを合わせます。
- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。
- 電源を「切（充電）」にして12時間以上経つと、自動的に［オート］に戻ります。

テレマクロ

背景をぼかして、被写体をより際立たせることができます。花や昆虫など小さいものを撮るときに便利です。
［入］（T）にするとズーム（24ページ）が自動で望遠（T側）になり、約37cmまでの近接撮影ができます。

解除するには、［切］をタッチ。またはズームを広角（W側）にする。

- 被写体が遠いときはピントが合いにくく、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。
- ピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください（［フォーカス］、42ページ）。

フラッシュ設定

本機の内蔵フラッシュ、または本機に対応している外付けフラッシュ(別売り)をお使いのとき設定できます。

■ フラッシュレベル

明るい(⚡+)
発光量が増える。

▶ノーマル(⚡)

暗い(⚡−)
発光量が減る。

■ 赤目軽減

撮影前に予備発光して、目が赤く光るのを抑制します。
[入]に設定して⚡(フラッシュ)ボタン(24ページ)を繰り返し押し、お好みの設定を選びます。

👁(自動赤目軽減):自動でフラッシュ撮影するときのみ、予備発光し、撮影時に発光する。
↓
👁⚡(強制赤目軽減):常に予備発光し、撮影時に発光する。
↓
⚡(発光禁止):常に発光しない。

- 赤目軽減で撮影しても、効果が現れにくいことがあります。

SUPER NS (Super NightShot)

あらかじめ、NIGHTSHOTスイッチ(24ページ)を「入」にした状態で、[入]に設定すると、暗い場所でNightshotの最大16倍の感度で撮影できます。
S👁と["SUPER NIGHTSHOT"]が表示されます。

解除するには、[SUPER NS]を[切]、またはNIGHTSHOTスイッチを「切」にする。

- NightShotと[SUPER NS]を明るい場所では使わないでください。故障の原因になります。
- 赤外線発光部を指などで覆わないでください(24ページ)。
- コンバージョンレンズ(別売り)は外してください。
- ピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください([フォーカス]、42ページ)。
- シャッタースピードが明るさによって変わり、画像の動きが遅くなることがあります。

NS ライト(NightShot ライト)

[入](お買い上げ時の設定)のとき、NightShot(24ページ)と[SUPER NS](43ページ)撮影時に、赤外線(不可視)を発光する[NSライト]で、よりはっきりした画像を撮影できます。

- 赤外線発光部を指などで覆わないでください(24ページ)。
- コンバージョンレンズ(別売り)は外してください。
- ライトが届く範囲は約3メートルです。

COLOR SLOW S (Color Slow Shutter)

[入]に設定すると、薄暗い場所でも明るくカラーで撮影できます。
[◙]と[COLOR SLOW SHUTTER]が表示されます。

解除するには、[切]をタッチ。

- ピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください([フォーカス]、42ページ)。
- シャッタースピードが明るさによって変わり、画像の動きが遅くなることがあります。

次のページへつづく➡

ゼブラ

明るさを調節するときの目安にすると便利です。お買い上げ時の設定以外にすると、▧が表示されます。ゼブラは記録されません。

▶切

表示しない。

70

輝度レベルが約70IREの部分に表示

100

輝度レベルが約100IRE以上の部分に表示

- 100IRE以上の部分は白とびすることがあります。
- ゼブラとは、画面に映る画像の中で、設定した輝度レベル部分に表示されるしま模様のことです。

セルフタイマー

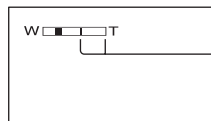
約10秒後に撮影を開始できます。

[入](⏲)のとき、動画のときは録画スタート/ストップボタン、静止画のときはフォトボタンを押す。
秒読みを停止するには[リセット]をタッチ。

解除するには、[切]をタッチ。

- リモコンのスタート/ストップボタン、またはフォトボタンでも操作できます(32ページ)。

デジタルズーム

テープ撮影時に、10倍光学ズーム(お買い上げ時の設定)を超えてデジタルズームになったときの最大倍率を設定します。デジタル処理のため画質は劣化します。

▶切

10倍光学ズームのみ

20×

10倍光学ズーム～最大20倍までのデジタルズーム

120×

10倍光学ズーム～最大120倍までのデジタルズーム

手ぶれ補正

お買い上げ時の設定は[入]のため、手ぶれ補正を使って撮影できます。コンバージョンレンズ(別売り)や三脚(別売り)を利用するときは、[切]( )にすると自然な画像になります。

プログレッシブ記録

[入]に設定して撮影すると、撮影後に動画をパソコンなどに取り込んで静止画にしたときの画像のぶれが、通常よりも少なくなります。スポーツのフォーム解析などに便利です。**30p** が表示されます。

解除するには[切]をタッチ。

プログレッシブ(全画素書き出し)とは
通常のテレビ放送では、1つの画面(フレーム)を細かい2つのフィールドに分け、1/60秒ごとに交互に映しています。瞬間ごとの画像は、見た目の面積の半分でしか映っていません。これに対し、一度に全画素(フレーム)を書き出す記録方式をプログレッシブと言います。画像は鮮明ですが、動きのある被写体は動きがぎこちなくなります。

- 蛍光灯、電球などの照明下で撮影すると、1つの画面が明るく光る現象(フリッカー)が現れることがあるので、気になるときは通常の撮影にしてください。

メモリー設定メニュー

"メモリースティック　デュオ"に関する設定(連写/画質/画像サイズ/全消去/フォルダ作成など)

▶は、お買い上げ時の設定。
(　)内の表示が画面に出ます。
操作方法は36ページをご覧ください。

静止画設定

■ 連写

フォトボタンを押したときに、静止画を連写できます。

▶切
連写しない。

ノーマル( )
約0.5秒間隔で静止画を連写する。
フォトボタンを押したままにすると、最大枚数まで連写する。
4:3のとき(枚)

3.0M	1.9M	VGA
3	4	21

16:9(ワイド)のとき
最大3枚の静止画(画像サイズは2.3M)を連写する。

高速( )
約0.07秒間隔で最大32枚(画像サイズはVGA)の静止画を連写する。

ブラケット(BRK)
約0.5秒間隔に、露出を自動で変えた3枚の画像を連写する。3枚を見比べて明るさが最適な画像を選べる。

- 「撮る－メモリー」時のみ設定できます。
- シンプル操作時は設定できません。
- 連写中はフラッシュは発光しません。
- セルフタイマーやリモコンで撮影時は、最大枚数まで連写します。
- [高速]で連写すると、画面が明るくなる現象(フリッカー)や変色が生じることがあります。
- "メモリースティック　デュオ"の残量が3枚より少ないと、[ブラケット]は実行できません。

次のページへつづく➡

■ 画質

▶ファイン（FINE）
高画質で記録する。

スタンダード（STD）
標準の画質で記録する。

- シンプル操作時は、[ファイン]に設定されます。

■ 画像サイズ

▶3.0M（3.0M）
鮮明な画像を撮影する。

1.9M（1.9M）
比較的きれいな画像をたくさん撮影する。

VGA（0.3M）（VGA）
たくさんの枚数を撮影する。

- ワイド（16:9）に切り換えると画像サイズは[2.3M]に固定されます（19ページ）。
- 「撮る－メモリー」時のみ設定できます。

“メモリースティック　デュオ”の容量（MB）と撮影可能枚数（枚）

4:3のとき

	3.0M（2016×1512） 3.0M	1.9M（1600×1200） 1.9M	VGA（640×480） VGA
16MB	10	16	96
	24	37	240
32MB	20	32	190
	48	75	485
64MB	40	65	390
	98	150	980
128MB	82	130	780
	195	300	1970
256MB	145	235	1400
	355	540	3550
512MB	300	480	2850
	720	1100	7200
1GB	610	980	5900
	1450	2250	14500
2GB	1250	2000	12000
	3000	4650	30000

ワイド（16:9）のとき

	2.3M（2016×1134） 2.3M	0.2M（640×360） 0.2M *
16MB	13	115
	32	240
32MB	27	240
	65	485
64MB	54	490
	130	980
128MB	105	980
	260	1970
256MB	195	1750
	470	3550
512MB	400	3600
	960	7200
1GB	820	7300
	1950	14500
2GB	1650	15000
	4000	30000

* 「撮る－テープ」時に“メモリースティック　デュオ”に静止画撮影したとき、画像サイズは[0.2M]に自動設定されます。メニューの[静止画設定]で[0.2M]は選択できません。

- それぞれの数値は次の設定によるものです。
  上段：画質が[ファイン]のとき
  下段：画質が[スタンダード]のとき
- ソニー製“メモリースティック　デュオ”使用時。
  枚数は、撮影環境によって変わります。

画像1枚のおよその容量(kB)

4:3のとき

3.0M	1.9M	VGA
1540	960	150
640	420	60

ワイド(16:9)のとき

2.3M	0.2M*
1150	130
480	60

* 「撮る－テープ」時に"メモリースティック デュオ"に静止画撮影したとき、画像サイズは[0.2M]に自動設定されます。メニューの[静止画設定]で[0.2M]は選択できません。

- それぞれの数値は次の設定によるものです。
  上段:画質が[ファイン]のとき
  下段:画質が[スタンダード]のとき

ムービー設定

■ 画像サイズ

▶320×240(320)
鮮明な画像を撮影する。

160×112(160)
長時間撮影する。

"メモリースティック デュオ"の容量(MB)と撮影可能時間(時:分:秒)

	320×240 320	160×112 160
16MB	00:02:40	00:10:40
32MB	00:05:20	00:21:20
64MB	00:10:40	00:42:40
128MB	00:21:20	01:25:20
256MB	00:42:40	02:50:40
512MB	01:25:20	05:41:20
1GB	02:50:40	11:22:40
2GB	05:41:20	22:45:20

- ソニー製"メモリースティック デュオ"使用時。
  撮影時間は、撮影環境によって変わります。

全消去

プロテクトのかかっていない"メモリースティック デュオ"内または選択フォルダ内の全画像を消します。

① [全ファイル]か[フォルダ内]を選ぶ。
[全ファイル]:"メモリースティック デュオ"内のすべての画像を消去。
[フォルダ内]:選択しているフォルダ内のすべての画像を消去。

② [はい]を2回→ をタッチ。

- 誤消去防止スイッチのある"メモリースティック デュオ"は、誤消去防止を解除する(110ページ)。
- 全消去しても、フォルダは消去されません。
- [全消去中です]が表示されているとき、次の操作はしないでください。
  – 電源スイッチ/ボタン操作
  – "メモリースティック デュオ"の取り出し

フォーマット

"メモリースティック デュオ"はお買い上げ時にフォーマット済みのため、フォーマットする必要はありません。

フォーマットを実行するには、[はい]を2回→ をタッチ。
フォーマットされて、すべての画像が消去されます。

- [フォーマット中です]が表示されているとき、次の操作はしないでください。
  – 電源スイッチ/ボタン操作
  – "メモリースティック デュオ"の取り出し
- 新しく作成したフォルダやプロテクトのかかっている画像もすべて消去されます。

ファイルナンバー

▶**連番**
"メモリースティック　デュオ"を取り換えても、ファイル番号を連続して付ける。フォルダを新しく作成、または記録先フォルダを変更した場合はリセットされる。

リセット
"メモリースティック　デュオ"ごとに、ファイル番号を0001から付ける。

フォルダ作成

"メモリースティック　デュオ"内に、新しいフォルダ（102MSDCF〜999MSDCFまで）を作成できます。1つのフォルダが9,999枚になった時点で、自動的に作成された次の新しいフォルダに移ります。

[はい]→[X]をタッチ。

- 1度作成した新しいフォルダは、本機で削除できません。"メモリースティック　デュオ"をフォーマットするか（47ページ）、パソコンなどで削除してください。
- フォルダが増えると、"メモリースティック　デュオ"の残量が減ることもあります。

記録フォルダ選択

[▼]/[▲]で記録するフォルダを選んで[OK]をタッチ。

- お買い上げ時の設定では、ファイルは「101MSDCF」に記録されます。
- いったん画像を記録すると、そのとき選ばれている記録先フォルダが、再生フォルダに設定されます。

再生フォルダ選択

[▼]/[▲]で再生するフォルダを選んで[OK]をタッチ。

ピクチャーアプリメニュー

画像への特殊効果追加や、応用的な撮影/再生機能（スライドショー/ピクチャーエフェクト/コマ撮りなど）

▶は、お買い上げ時の設定。
（　）内の表示が画面に出ます。
操作方法は36ページをご覧ください。

フェーダー

場面間に、効果を入れながら、つなぎ撮りできます。

① スタンバイ中（フェードインのとき）、または撮影中（フェードアウトのとき）に使いたい効果を選んで、[OK]をタッチ。
[オーバーラップ]、[ワイプ]、[ドットフェーダー]を選ぶと、記憶中画面が青くなり、テープ上の画像が静止画として記憶される。
② 録画スタート/ストップボタンを押す。
フェーダー表示が点灯に変わり、終了後消える。

操作開始前に解除するには手順①で「切」をタッチ。
1度スタート/ストップボタンを押すと設定は解除されます。

フェードアウト　　フェードイン

ホワイトフェーダー

ブラックフェーダー

モザイクフェーダー

モノトーンフェーダー

フェードイン時は白黒→カラーに、フェードアウト時はカラー→白黒になる。

オーバーラップ(フェードインのみ)

ワイプ(フェードインのみ)

ドットフェーダー
(フェードインのみ)

ファインダーを見ながら操作する

液晶画面を180°回転させ、外側に向けて閉じると、ファインダーを見ながら[フェーダー]と[カメラ明るさ]を調節できます。

① 電源スイッチが「撮る－テープ」か「撮る－メモリー」になっていることを確かめる。
② 液晶画面を外側に向けて閉じる。
　[切]が表示される。
③ [切]をタッチ。
　[パネルを消しますか?]が表示される。
④ [はい]をタッチ。
　画面表示が消える。
⑤ ファインダーを見ながら、画面をタッチ。
　[カメラ明るさ]などが表示される。
⑥ 設定するボタンをタッチ。
　[カメラ明るさ]: [－]/[＋]で調節し、[OK]をタッチ。
　[フェーダー]: 繰り返しタッチして希望の効果を選ぶ(電源スイッチが「撮る－テープ」のときのみ)。
　[入]:液晶画面を点灯する。

ボタン表示を消すには、[OK]をタッチ。

スライドショー

"メモリースティック　デュオ"内の全画像、またはフォルダ内の全画像を自動再生(スライドショー)できます。

① [設定]→[再生フォルダ選択]をタッチ。
② [全ファイル(all)]か[フォルダ内(1)]を選び、[OK]をタッチ。
　[フォルダ内(1)]を選ぶと、[再生フォルダ選択](48ページ)で選んだフォルダ内の画像を自動再生する。
③ [繰り返し設定]をタッチ。
④ [入]または[切]を選び、[OK]をタッチ。
　[入]( )に設定すると、スライドショーを繰り返し、[切]に設定すると、スライドショーを1度だけで終了する。
⑤ [終了]→[スタート]をタッチ。

中止するには[終了]を、一時停止するには[ポーズ]をタッチ。

- [スタート]をタッチする前に、[－]/[＋]でスライドショーを始める画像を選べます。
- 動画の音量を[ー]/[+]で調節できます。

デジタルエフェクト

演出を加えて画像を撮影したり、見たりできます。

① 設定する効果を選ぶ。
　[スチル]、[ルミキー]では、選択された画像が静止画として記憶される。
② [－]/[＋]で効果を調節して[OK]をタッチ。

効果	調節内容
シネマチックエフェクト*	調整不要
時間差モーション	反復速度
スチル	背景の静止画の写り具合
フラッシュ	フラッシュの間隔

メニューで設定を変更する

効果	調節内容
ルミキー	静止画部分の明るさ
トレイル	残像時間
スローシャッター*	シャッタースピード(1は1/30、2は1/15、3は1/8、4は1/4)
オールドムービー*	調節不要

* テープ撮影時のみ使えます。

③ OK をタッチ。
D✦ が表示される。

解除するには手順①で[切]をタッチ。

▶切
デジタルエフェクトを使わない。

シネマチックエフェクト
画面をワイド(16:9)、画像をプログレッシブにして画質を調整し、映画のように撮影する。

時間差モーション
映像に反復効果をつけながら撮影する。

スチル
記憶済みの静止画に、動画を重ねて撮影する。

フラッシュ(フラッシュモーション)
コマ送り撮影をする。

ルミキー(ルミナンスキー)
記憶済みの静止画の明るい部分(人物の背景など)に、動画をはめ込んで撮影する。

トレイル
残像が尾を引くように撮影する。

スローシャッター
シャッタースピードが遅くなる。暗い場所での撮影向き。
- 自動でピントが合いにくいため、三脚(別売り)などに固定して、手動でピントを合わせてください([フォーカス]、42ページ)。

オールドムービー
昔の映画のようなセピア色の画像にする。

- [シネマチックエフェクト]を設定してテープ記録している間は、他のデジタルエフェクトに切り換えられません。
- [時間差モーション]を設定しているとき、ズーム操作中はエフェクトが中断されます。
- [時間差モーション]のときには、三脚(別売り)などでカメラを固定することをおすすめします。
- [オールドムービー]を設定しているとき、ワイド(16:9)切換はできません。
- 効果を加えて再生している画像を本機でテープに記録することはできません。
- 外部入力している画像に、効果を加えることはできません。
- 再生画像にデジタルエフェクトを加えても i DV端子(i.LINK)からは、出力されません。
- 効果を加えた画像を、"メモリースティック デュオ"に取り込んだり(64ページ)、他のビデオ/DVD機器などに録画したり(60ページ)できます。

ピクチャーエフェクト

特殊効果を加えて撮影したり、見たりできます。P✦ が表示されます。

▶切
ピクチャーエフェクトを使わない。

ネガアート
ネガフィルムのような画像。

セピア
古い写真のような画像。

モノトーン
白黒の画像。

ソラリ
明暗がはっきりして、イラストのような画像。

パステル*
淡い色の画像。

モザイク*
タイルを組み合わせたような画像。

* 再生中は設定できません。

- 外部入力している画像に効果追加はできません。
- 再生画像にピクチャーエフェクトを加えても i DV端子（i.LINK）からは、出力されません。
- 効果を加えた画像を、"メモリースティック デュオ" に取り込んだり（64ページ）、他のビデオ/DVD機器などに録画したり（60ページ）できます。

コマ撮り

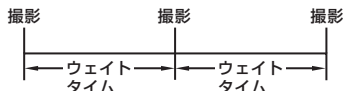
人形などを少しずつ動かしながらコマ撮りをすると、アニメーションのような効果を出せます。本機を固定してリモコンを使うと、手ぶれを防げます。

① ［入］（ ）→ OK → ✕ をタッチ。
② 録画スタート/ストップボタンを押す。
1コマ（約6フレーム）分撮影し、スタンバイに戻る。
③ 被写体を動かし、手順②を繰り返す。

解除するには手順①で［切］をタッチ。

- テープ残量は正しく表示されません。
- 最終カットは通常の1コマよりも長くなります。

スムーズインターバル録画

一定時間ごとにテープへ1フレームずつ録画します。雲の動きや日照変化などを観測するときに便利です。再生するとなめらかに見えます。長時間撮影時は、付属のACアダプターから電源を取ってください。

① 設定 → − / ＋ で希望のウェイトタイム（1秒～120秒）を選び、OK をタッチ。
② ［録画スタート］をタッチ。
録画が始まり、●が赤に変わる。

一時停止するには手順②で［録画ストップ］をタッチ、再開するには［録画スタート］をタッチ。
解除するには手順②で［録画ストップ］→［終了］をタッチ。

- 録画中は数フレームを記録するごとに録画部分の最後をエンドサーチすることがあります。
- メッセージが表示されている間は電源を切ったり取り外したりしないでください。
- 撮影開始と終了時は数フレーム録画されます。
- 撮り始めてから約12時間経過すると自動で解除されます。
- 音声は記録されません。
- バッテリー切れやテープ切れになると最後の数フレームが記録されないことがあります。
- ウェイトタイムは、少し誤差が出ることがあります。

- 手動でピントをあわせておくと、光が変化してもぼやけずに録画できます（[フォーカス]、42ページ）。
- 撮影時の記録音は、[操作音]で消すことができます（56ページ）。

インターバル静止画記録

一定時間ごとに"メモリースティック デュオ"へ静止画を記録します。雲の動きや日照変化などを定点観測撮影時に便利です。

① [設定]→希望のウェイトタイム（1分、5分、10分）→[OK]→[入]（）→[OK]→[X]をタッチ。
② フォトボタンを深く押す。
が点滅から点灯に変わり、インターバル静止画記録が始まる。

解除するには手順①で[切]にする。

デモモード

お買い上げ時の設定は[入]のため、カセットと"メモリースティック デュオ"両方を取り出し、電源スイッチを「撮る－テープ」にすると約10分後に本機の機能のデモンストレーションを見ることができます。

- 次のいずれかを行うと、デモンストレーションを中断できます。
  - デモンストレーション中に画面をタッチ（約10分後に再開します）。
  - カセットか"メモリースティック デュオ"を入れる。
  - 電源スイッチを「撮る－テープ」以外にする。

PictBridge プリント

69ページをご覧ください。

USB 機能選択

USBケーブルで本機とパソコンをつないで、パソコンで画像を見たり、PictBridge対応のプリンターと接続する（69ページ）ときに使います。詳しくは付属のCD-ROM収録の「ファーストステップガイド」をご覧ください。

パソコン接続メモリースティック
"メモリースティック デュオ"に記録した画像をパソコンで見たり、パソコンに取り込むときに選択します。

PictBridge プリント
本機とPictBridge対応のプリンターを直接つないで、プリントするときに選択します（69ページ）。

パソコン接続ストリーム
テープに記録した動画をパソコンで見たり、パソコンに取り込むときに選択します。

ビデオCD作成
テープに記録した画像をCD-Rに書き込むときに選択します。付属のCD-ROMに含まれている「ファーストステップガイド」をご覧ください（78ページ）。

- シンプル操作時、[パソコン接続ストリーム]、[ビデオCD作成]は設定できません。

編集 / 変速再生メニュー

編集/変速再生の設定(変速再生/エンドサーチ操作など)

▶は、お買い上げ時の設定。
(　)内の表示が画面に出ます。
操作方法は36ページをご覧ください。

変速再生

テープの動画再生時に変速再生できます。

① 再生中に、下記のボタンをタッチ。

再生方法	タッチするボタン
逆方向に再生*	[◀II<](コマ送り)
スロー再生**	[スロー I▶] 逆方向には: [◀II<](コマ送り)→ [スロー I▶]
倍速再生	[×2](倍速再生) 逆方向には: [◀II<](コマ送り)→ [×2](倍速再生)
コマ送り	一時停止中に[>II▶](コマ送り) 逆方向へはコマ送り中に:[◀II<](コマ送り)

* 画面上下や中央に横じまが入ることがありますが、故障ではありません。

** i DV端子(i.LINK)から出力される画像は、なめらかにスロー再生されません。

② [↩]→[X]をタッチ。

通常再生に戻すには、[▶ II](再生/一時停止)を2回タッチ(「コマ送り」は1回)。

- 音声は出ません。また、映像がモザイク状に残ることがあります。

録画操作

63ページをご覧ください。

アフレコ操作

66ページをご覧ください。

ムービー録画操作

64ページをご覧ください。

DVD 作成

本機をソニーパーソナルコンピューターVAIOシリーズに接続すると、テープに録画した画像を簡単にDVDに書き込むことができます(おまかせ「Click to DVD」)(80ページ)。

ビデオ CD 作成

本機をパソコンに接続すると、テープに録画した画像を簡単にCD-Rに書き込むことができます(おまかせビデオCD機能)。詳しくは、CD-ROM(付属)の「ファーストステップガイド」をご覧ください(78ページ)。

エンドサーチ操作

実行
最後に撮影した場面の約5秒間が再生され、自動的に止まる。

中止
エンドサーチを中止する。

- カセットを取り出すと、エンドサーチ操作はできなくなります。

基本設定メニュー

テープ撮影時の設定や、各種基本設定(録画モード/音声モード/パネル・VF設定/画面表示出力など)

▶は、お買い上げ時の設定。
( )内の表示が画面に出ます。
操作方法は36ページをご覧ください。

録画モード

▶SP(SP)
テープへSP(標準)モードで録画する。

LP(LP)
テープへSPモードの1.5倍の録画時間で長時間録画する。

- LPモードで録画したテープを他機で再生すると、モザイク状のノイズが現れたり、音声が途切れたりすることがあります。
- テープの途中でSP/LPモードを切り換えると、画像が乱れたり、タイムコードが正しくつながらないことがあります。

音声モード

▶12BIT
テープへ12ビット(2つのステレオ音声)で記録する。

16BIT(♪16b)
テープへ16ビット(高音質で1つのステレオ音声)で記録する。

音量

23ページをご覧ください。

バイリンガル

他機で二重音声(またはステレオ音声)で記録したテープを、本機で再生するときの音声が選べます。

▶**切**
主+副音声(またはステレオ音声)で再生する。

メイン
主音声(または左音声)で再生する。

サブ
副音声(または右音声)で再生する。

- 本機は二重音声を再生できますが、記録はできません。
- 電源を「切(充電)」にして12時間以上経つと、自動的に[切]に戻ります。

音声ミックス

66ページをご覧ください。

パネル・VF 設定

設定を変更しても録画される画像に影響ありません。

■ パネル明るさ

液晶画面の明るさを調節できます。

① [－]/[＋]で調節する。
② [OK]をタッチ。

■ パネルバックライトレベル

液晶画面バックライトの明るさを調節できます。

▶**ノーマル**
通常の設定(標準の明るさ)。

明るい
画面が暗いと感じたときに選ぶ。

- コンセントにつないで使うと、設定は自動的に[明るい]になります。
- [明るい]を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。

■ パネル色のこさ

[－]/[＋]で液晶画面の濃さを調節できます。

[－] [＋]
薄くなる ⟷ 濃くなる

■ VFバックライト

ファインダーの明るさを調節できます。

▶ノーマル
通常の設定(標準の明るさ)。

明るい
ファインダーが暗いと感じたときに選ぶ。

- コンセントにつないで使うと、設定は自動的に[明るい]になります。
- [明るい]を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。

■ VFワイド表示タイプ

ワイド(16:9)画像のファインダーでの見えかたを設定できます。

▶レターボックス
通常の設定(標準の見えかた)。

スクイーズ
ワイド(16:9)画像で上下に帯があって表示が見にくいとき、画像を上下に引きのばす。

A/V 入力 → DV 出力

[入](A/V▸DV)にすると、デジタル機器とアナログ機器の間に本機をつなぎ、本機でアナログの信号をデジタル信号に変換できます。詳しくは、82ページをご覧ください。

ビデオ入力

AV接続ケーブルで相手機から映像を入力するときに接続する映像プラグを設定します。

▶ビデオ
AV接続ケーブルの映像プラグを使う。

S ビデオ
S 映像ケーブルつきのAV接続ケーブルのS 映像プラグを使う。

TV タイプ

35ページをご覧ください。

USB カメラ

[パソコン接続ストリーム]に設定して、本機とパソコンをUSBケーブルでつなぐと、本機が撮影している画像をパソコンの画面で見ることができ、ライブカメラのように使用することができます。
カメラの画像をパソコンに取り込むこともできます。詳しくは、付属のCD-ROMに収録されている「ファーストステップガイド」をご覧ください(78ページ)。

表示ガイド

15ページをご覧ください。

ガイドフレーム

[入]にすると、フレームを表示して、被写体が水平、垂直になっているかを確認できます。
フレームは記録されません。画面表示/バッテリーインフォボタンを押すと、フレームを消せます。

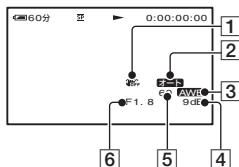
- ガイドフレームの交差点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。

日時 / カメラデータ表示

撮影時に自動的に記録された情報(日時やカメラデータ)を再生時に表示できます。

▶切
日時やカメラデータを表示しない。

日付時刻データ
日付、時刻を表示。

カメラデータ(下記)
カメラデータを表示。

1 手ぶれ補正
2 明るさ調節
3 ホワイトバランス
4 ゲイン
5 シャッタースピード
6 絞り値

- “メモリースティック　デュオ”の動画再生時はカメラデータは表示されません。
- “メモリースティック　デュオ”の静止画再生時は、露出補正値(0EV)とシャッタースピード、絞り値が表示されます。
- フラッシュを使って撮影した画像は、ϟ が表示されます。
- [日付時刻データ]のときは、同じエリアに日時が表示されます。日時、時刻を設定せずに撮影すると、[---- -- --]と[--:--:--]が表示されます。
- シンプル操作時は、メニュー名が[日時/カメラデータ表示]から[日時データ表示]に変わり、[日付時刻データ]のみ設定できます。

残量表示

▶オート
次のときにテープ残量を約8秒間表示する。
- カセットが入った状態で電源スイッチを「見る/編集」か「撮る－テープ」にしたとき
- ►II(再生/一時停止)をタッチしたとき

入
テープ残量を常に表示する。

リモコン

お買い上げ時の設定は[入]のため、付属のワイヤレスリモコン(32ページ)が使えます。

- [切]に設定すると、他機のリモコンによる誤動作を防げます。

録画ランプ

[切]に設定すると、本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しないようにできます(お買い上げ時の設定は[入])(26ページ)。

操作音

▶入
撮影スタート/ストップ時、タッチパネルでの操作時などにメロディが鳴る。

切
操作音を出さない。

画面表示出力

▶パネル
タイムコードなどの画面表示を液晶画面とファインダーに出す。

ビデオ出力/パネル
画面表示をテレビ画面、液晶画面、ファインダーに出す。

メニュー操作方向

▶ノーマル
▲ をタッチするとメニュー項目が下に回転する。

逆方向
▲ をタッチするとメニュー項目が上に回転する。

時間設定メニュー

(日時あわせ/時差補正)

自動電源オフ

▶5分後

何も操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れる。

なし

自動的に電源は切れない。

- コンセントにつないで使うと自動的に[なし]になります。

キャリブレーション

115ページをご覧ください。

操作方法は36ページをご覧ください。

日時あわせ

16ページをご覧ください。

時差補正

海外で使うときは、[−]/[＋]で時差を設定し、現地時刻に合わせる。
時差を0に設定すると元の設定に戻る。

パーソナルメニューを変更する

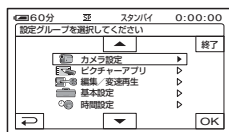
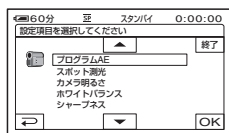
希望のメニュー項目を、電源ランプの位置ごとに、パーソナルメニューに登録できます。よく使う項目を登録しておくと便利です。

項目を追加する

電源ランプの位置ごとに、最大28項目まで登録できます。登録数がいっぱいのときは、不要な項目を削除してください。

1 P.メニュー→[P.メニュー設定]→[追加]をタッチ。

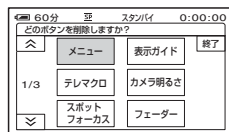
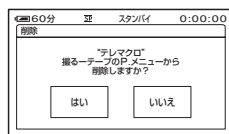
画面にないときは、⌃/⌄をタッチして表示させる。

2 ▲/▼で設定項目を選び、OKをタッチ。

3 ▲/▼で項目を選び、OK→[はい]→✕をタッチ。

項目がパーソナルメニューの最後に追加される。

項目を削除する

1 P.メニュー→[P.メニュー設定]→[削除]をタッチ。

画面にないときは、⌃/⌄をタッチして表示させる。

2 削除する項目をタッチ。

3 [はい]→✕をタッチ。

- [メニュー]と[P.メニュー設定]は削除できません。

表示位置を並べ替える

1 P.メニュー→[P.メニュー設定]→[並べ替え]をタッチ。

画面にないときは、⌃/⌄をタッチして表示させる。

2 移動する項目をタッチ。

3 ▲/▼で項目を移動する。

4 OKをタッチ。

続けて並べ替えるときは手順**2**～**4**を行う。

5 [終了]→✕をタッチ。

- [P.メニュー設定]は並べ替えられません。

お買い上げ時の設定に戻す（リセット）

P.メニュー→[P.メニュー設定]→[リセット]→[はい]→[はい]→✕をタッチ。

画面にないときは、⌃/⌄をタッチして表示させる。

他のビデオ/DVD機器などにダビングする

本機の画像を他のビデオ/DVD機器などへダビングできます。
本機とビデオ/DVD機器などをAV接続ケーブル（1）、S映像ケーブル付きのAV接続ケーブル（2）、i.LINKケーブル（3）のいずれかのケーブルでつなぎます。本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください（9ページ）。また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- 本機をハンディカムステーションに取り付けたまま、ビデオカセットを出し入れしないでください。故障の原因になります。

:信号の流れ

1 AV 接続ケーブル（付属）

A/V端子はハンディカムステーションおよび本機にそれぞれ装備しています（71ページ）。AV接続ケーブルは、ハンディカムステーション、または本機のどちらか一方に接続してください。

2 S 映像ケーブル付きの AV 接続ケーブル（別売り）

S（またはS1/S2）映像端子のある機器につなぐときは、このケーブルで接続すると、付属のAV接続ケーブルに比べ、画像をより忠実に再現できます。白と赤のプラグ（左右音声端子）とS映像プラグ（S映像端子）のみ接続し、黄色いプラグ（映像端子）は接続不要です。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。

- 本機はS1映像端子対応のため、つなぐ端子がSまたはS2映像端子のときは画像が正しく表示されない場合があります。その場合、テレビの設定を変更することで改善されることがあります。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

3 i.LINK ケーブル（別売り）

i.LINK端子のある機器につなぐときは、このケーブルで接続すると、デジタル信号でやり取りするため、劣化がほとんど無い映像/音声を楽しめます。映像または音声のみの記録はできません。

- 接続先のビデオ/DVD機器などがモノラルの場合は、AV接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ（左音声）または赤いプラグ（右音声）を音声入力へつなぎます。
- AV接続ケーブルでつなぐときは、[画面表示出力]を[パネル]（お買い上げ時の設定）にしてください（56ページ）。
- i.LINKケーブルを使って他の機器に信号を送っているときは DVOUT i.LINK が本機の液晶画面に表示されます。

1 本機（再生側）の準備をする。

撮影済みのカセットを入れる。

再生機器（テレビなど）に合わせて、[TVタイプ]を設定する（35ページ）。

2 ビデオ（録画側）の準備をする。

ビデオは録画用カセット、DVDレコーダーは録画用DVDを入れる。

入力切り換えスイッチがある場合は「入力」（ビデオ1、ビデオ2入力など）にする。

3 本機とビデオ/DVD機器などをつなぐ。

ビデオ/DVD機器などの入力端子につなぐ。

4 本機で再生を始め、ビデオ/DVD機器などで録画する。

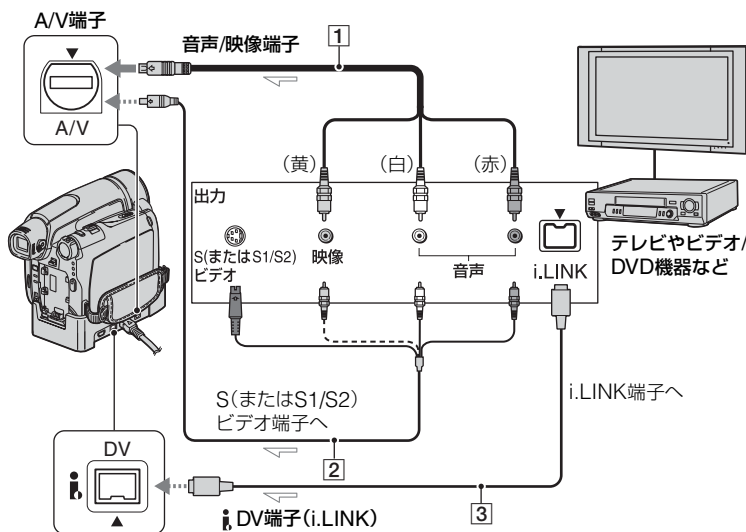
詳しくは、ビデオ/DVD機器などの取扱説明書をご覧ください。

5 ダビングが終わったら、ビデオ/DVD機器などの録画を停止し、本機の再生を停止する。

- AV接続ケーブルでつないで日時やカメラデータなどをダビングしたいときは、それらを表示させてください（55、56ページ）。
- i DV端子（i.LINK）接続では、次のものは録画されません。
  - 画面表示
  - [ピクチャーエフェクト]（50ページ）/[デジタルエフェクト]（49ページ）/再生ズーム（25ページ）を加えた画像
- i.LINKケーブル接続時は、再生一時停止中の画像を録画すると、画像が粗くなることがあります。
- i.LINKケーブル接続時は、機器やアプリケーションなどによっては日時やカメラデータが表示、記録されないことがあります。

テレビやビデオ/DVD機器などの画像を本機で録画する

テレビやビデオ/DVD機器などの画像を本機のテープや"メモリースティック　デュオ"に録画できます。"メモリースティック　デュオ"には静止画としても記録できます。
あらかじめ、本機に録画用テープまたは"メモリースティック　デュオ"を入れておいてください。
本機とテレビやビデオ/DVD機器、i.LINK対応機器などをAV接続ケーブル（1）、S映像ケーブル付きのAV接続ケーブル（2）、i.LINKケーブル（3）のいずれかのケーブルでつなぎます。本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください（9ページ）。また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- テレビやビデオ/DVD機器などに出力端子がない場合は本機で録画できません。
- 本機をハンディカムステーションに取り付けたまま、ビデオカセットを出し入れしないでください。故障の原因になります。

:信号の流れ

1 AV接続ケーブル（付属）

A/V端子はハンディカムステーションおよび本機にそれぞれ装備しています（71ページ）。AV接続ケーブルは、ハンディカムステーション、または本機のどちらか一方に接続してください。

2 S映像ケーブル付きのAV接続ケーブル（別売り）

S（またはS1/S2）映像端子のある機器につなぐときは、このケーブルで接続すると、付属のAV接続ケーブルに比べ、画像をより忠実に再現できます。白と赤のプラグ（左右音声端子）とS映像プラグ（S映像端子）のみ接続し、黄色いプラグ（映像端子）は接続不要です。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。

3 i.LINK ケーブル(別売り)

i.LINK端子のある機器につなぐときは、このケーブルで接続すると、デジタル信号でやり取りするため、劣化がほとんど無い映像/音声を楽しめます。映像または音声のみの記録はできません。

- 接続先のテレビやビデオ/DVD機器などがモノラルの場合は、AV接続ケーブルの黄色いプラグを映像出力へ、白いプラグ(左音声)または赤いプラグ(右音声)を音声出力へつなぎます。
- AV接続ケーブルでつなぐときは、[画面表示出力]を[パネル](お買い上げ時の設定)にしてください(56ページ)。
- i.LINKケーブルを使って他の機器から信号を受け取っているときは DVIN i.LINK が本機の液晶画面に表示されます。(接続側の画面にも表示されることもあります)。

動画を録画する

1 テレビやビデオ/DVD機器などを再生機としてつなぐ。

テレビやビデオ/DVD機器などの出力端子につなぐ。

2 ビデオ/DVD機器の場合は、ダビングするカセットまたは、DVDを入れる。

3 本機の電源スイッチを「見る/編集」にする。

4 本機で録画操作する。

テープに取り込むときは、P.メニュー→[録画操作]→[録画ポーズ]をタッチ。

"メモリースティック デュオ"に取り込むときは、P.メニュー→[メニュー]→ 編集/変速再生→[ムービー録画操作]をタッチ。

S映像プラグでつなぐときは、P.メニュー→[メニュー]→基本設定→[ビデオ入力]→[S ビデオ]をタッチ。

5 ビデオ/DVD機器などから録画するとき:
ビデオ/DVD機器などで再生を開始する。

テレビから録画するとき:
テレビのチャンネルを合わせテレビ番組を受信する。

再生側の画像が本機の液晶画面に映る。

6 録画を開始したい画面で[録画スタート]をタッチ。

7 録画を止める。

テープに取り込むときは、■(停止)または[録画ポーズ]をタッチ。

"メモリースティック デュオ"に取り込むときは、[録画ストップ]をタッチ。

8 ↩→✕をタッチ。

静止画を記録する

1 「動画を録画する」の手順1～3を行う。

2 ビデオ/DVD機器などを再生、またはテレビ番組を受信する。

再生側の画像が本機の液晶画面に映る。

3 記録したい場面でフォトボタンを軽く押し、画像を確認したら深く押す。

テープの画像を“メモリースティック　デュオ”に取り込む

動画または静止画を“メモリースティック　デュオ”に記録できます。あらかじめ録画済みのテープと“メモリースティック　デュオ”を入れておいてください。

- 本機をハンディカムステーションに取り付けたまま、ビデオカセットを出し入れしないでください。故障の原因になります。

1 電源スイッチを「見る/編集」にする。

2 場面を探して、取り込む。

静止画として取り込む

[▶ II]（再生）をタッチしてテープを再生し、取り込む場面でフォトボタンを軽く押し、画面を確認して深く押す。

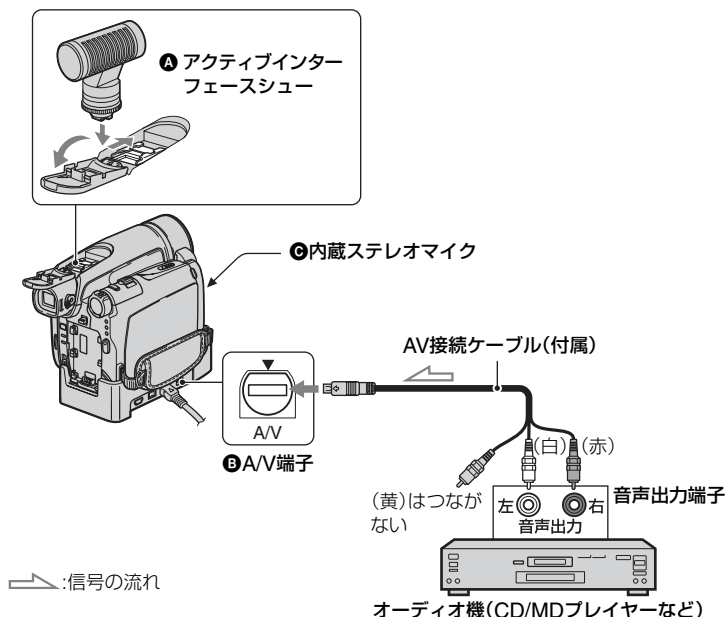
動画として取り込む

[P.メニュー]→[メニュー]→ 編集/変速再生→[ムービー録画操作]→[▶ II]（再生）をタッチしてテープを再生し、録画を開始したい場面で[録画スタート]をタッチ。
止めたいところで[録画ストップ]→[■]（停止）→[↩]→[×]をタッチ。

- 再生画像に[デジタルエフェクト]の[時間差モーション]を加えたときは“メモリースティック　デュオ”に取り込めません。
- テープに記録したときの日時と“メモリースティック　デュオ”に取り込んだときの日時が記録されます。本機では、テープに記録したときの日時が表示されます。テープに記録されたカメラデータは記録できません。
- 音声は32kHzのモノラルで記録されます。
- 動画の撮影可能時間については、47ページをご覧ください。
- 再生している画像がワイド（16:9）のときは静止画もワイド（0.2Mサイズ）で、4:3のときは4:3（VGA（0.3M）サイズ）で記録されます。

追加録音(アフレコ)する

テープに録画したビデオ(音声モード12BIT(54ページ))に、撮影時の音声を消すことなく、メッセージや説明などを、追加録音(アフレコ)できます。

接続する

A/V端子はハンディカムステーションおよび本機にそれぞれ装備しています。AV接続ケーブルは、ハンディカムステーション、または本機のどちらか一方に接続してください。

次のいずれかで音声を入力してください。

Ⓐ 別売りの外部マイクをアクティブインターフェースシューに

Ⓑ オーディオ機などをハンディカムステーション、または本機の A/V 端子に

Ⓒ 内蔵ステレオマイク(接続不要)

複数つないだときは、Ⓐ→Ⓑ→Ⓒの順番で優先されます。

次のときは、アフレコできません。

- 16BITモード(54ページ)で録画されたテープ
- LPモードで録画されたテープ
- i.LINKケーブルがつながれている
- 4CHマイク記録したテープ
- テープの無記録部分
- 異なるTVカラーシステムで録画されたテープ(108ページ)
- カセットが誤消去防止状態(109ページ)
- HDV記録部分

- 別売りの外部マイクが外れにくい構造になっています。取り付けるときは、押しながら奥まで差し込み、ネジを確実に締め付けてください。取り外すときは、ネジをゆるめ、上から押しながら外してください。
- A/V端子や内蔵ステレオマイクでアフレコするとき、A/V端子から映像は出力されません。映像は液晶画面またはファインダーで確認してください。
- 本機をハンディカムステーションに取り付けたままで、ビデオカセットを出し入れしないでください。故障の原因になります。
- 別売りの外部マイクをアクティブインターフェースシューにつないだときは、AV接続ケーブルでテレビなどとつないで画像と音声を確認できます。アフレコする音声は本機のスピーカーからは出力されないため、テレビなどで確認してください。

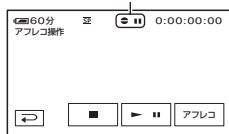
アフレコする

あらかじめ、本機に録画したカセットを入れておいてください。

1 電源スイッチを「見る/編集」にする。

2 ►❚❚(再生/一時停止)をタッチして再生し、アフレコする開始点で、►❚❚をもう1度タッチして一時停止する。

3 P.メニュー→[メニュー]→ 編集/変速再生→OK→[アフレコ操作]→OK →[アフレコ]をタッチ。

❚❚が表示

4 ►❚❚(再生)をタッチすると同時に、オーディオ機やマイクで、追加する音声を出す。

マークが表示されて、画像を再生しながら、音声がステレオ2に追加して記録される。

5 止めたいところで■(停止)をタッチ。

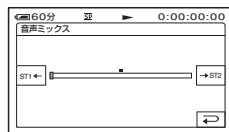
他にもアフレコする場合は、手順**2**で画面を選び、[アフレコ]をタッチ。

6 ↩→✕をタッチ。

- アフレコする終了点を決めるには、あらかじめ再生中に、終了したい場面でリモコンのゼロセットメモリーボタンを押しておきます。手順**2**から**4**を行うと自動的に録音が止まります。
- 本機で録画したテープにアフレコしてください。他のビデオ(本機以外のDCR-HC96を含む)で録画したテープにアフレコすると音質が劣化することがあります。

アフレコした音声を確認する

① アフレコしたテープを再生する(23 ページ)。

② P.メニュー→[メニュー]→ 基本設定→OK→[音声ミックス]→OKをタッチ。

③ ST1←/→ST2で撮影時の音声(ST1:ステレオ1)とアフレコした音声(ST2:ステレオ 2)の音声バランスを調整し、OKをタッチ。

- お買い上げ時は、ステレオ1の音のみが出る設定になっています。
- 調整したバランスは、電源を「切(充電)」にして12時間以上経つと、自動的にお買い上げ時の設定に戻ります。

“メモリースティック　デュオ”の画像を消す

1 電源スイッチを「見る/編集」にする。

2 [メモリー]をタッチ。

3 [－]/[＋]で削除する画像を表示させる。

- すべての画像を消去するには、メニューの[全消去](47ページ)で削除します。

4 [削除]→[はい]をタッチ。

- いったん削除した画像は元に戻せません。

- インデックス表示画面(23ページ)で、[設定]→[削除]→削除する画像→[OK]→[はい]をタッチしても画像を削除できます。6枚ずつ画像を一覧できるので、消す画像を簡単に探せます。
- “メモリースティック　デュオ”が誤消去防止になっているとき(110ページ)やプロテクトされている画像(68ページ)は削除できません。

“メモリースティック　デュオ”の画像にマークをつける(プリントマーク/プロテクト)

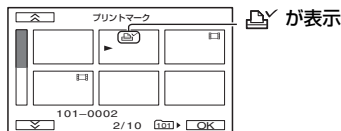
誤消去防止スイッチ付きの“メモリースティック　デュオ”のときは、あらかじめ誤消去防止を解除してください(110ページ)。

静止画にプリント用のマークを付ける(プリントマーク)

本機はプリントする画像を選択できるDPOF(Digital Print Order Format)規格に対応のため、マークを付けると、プリント時に選び直す必要がありません(プリント枚数は指定できません)。

1 電源スイッチを「見る/編集」にする。

2 メモリー → → 設定 →[プリントマーク]をタッチ。

3 プリントマークを付ける画像をタッチ。

4 OK →[終了]をタッチ。

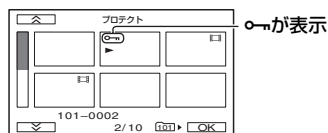
- プリントマークを外すには、手順**3**で、外す画像をもう1度タッチ。
- 他機でプリントマークを付けた画像が“メモリースティック　デュオ”に入っているときに本機でプリントマークを付けると、他機でプリントマークをつけた画像の情報が変更される場合があります。

記録した画像を保護する(プロテクト)

画像に誤消去防止(プロテクト)指定できます。

1 電源スイッチを「見る/編集」にする。

2 メモリー → → 設定 →[プロテクト]をタッチ。

3 プロテクトする画像をタッチ。

4 OK →[終了]をタッチ。

- プロテクトを外すには、手順**3**で外す画像をもう1度タッチ。

記録した画像を印刷する

(PictBridge対応プリンター)

PictBridge対応のプリンターを使えば、本機で撮影した静止画をパソコン無しで印刷できます。

PictBridge

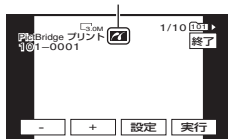
ハンディカムステーションと付属のACアダプターを使って、電源はコンセントから取ってください。
あらかじめ、本機に静止画を記録した"メモリースティック　デュオ"を入れて、プリンターの電源を入れてください。

本機とプリンターを接続する

1 本機の電源スイッチを「見る/編集」にする。

2 USBケーブルでハンディカムステーションの(USB)端子とプリンターをつなぐ。液晶画面に自動で[USB機能選択]が表示される。

3 [PictBridge プリント]をタッチ。

本機とプリンターの接続が完了すると画面に (PictBridge接続中)が表示される。

"メモリースティック　デュオ"に記録されている画像が表示される。

- 次の順番で操作しても同じです。
  - P.メニュー→[メニュー]→ ピクチャーアプリ→[USB機能選択]→[PictBridge プリント]をタッチ。
  - P.メニュー→[メニュー]→ ピクチャーアプリ→[PictBridge プリント]をタッチ。
- PictBridge規格未対応機器との接続は、動作保証いたしません。

印刷する

1 [−]/[＋]で印刷する画像を選ぶ。

2 [設定]→[印刷部数]をタッチ。

3 [−]/[＋]で印刷部数を設定する。

1枚の静止画で最大20枚まで印刷部数を設定できる。

4 [OK]→[終了]をタッチ。

日時を入れて印刷するには、[設定]→[日付/時刻]→[年月日]または[日時分]→[OK]をタッチ。

5 [実行]→[はい]をタッチ。

印刷が完了すると[プリント中です]の表示が消え、画像選択画面に戻る。

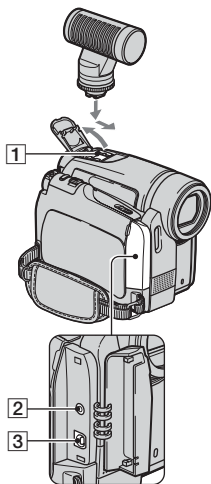
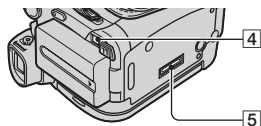
印刷終了後、[終了]をタッチ。

- プリンターの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 画面に が表示中に次の操作をすると、正常な処理が行われません。
  - 電源スイッチを切り換える。
  - 電源ケーブルを外す。
  - 本機をハンディカムステーションから取り外す。

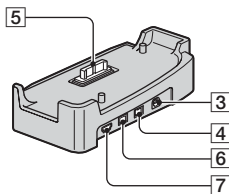
– ハンディカムステーションまたはプリンターからUSBケーブルを抜く。
– 本機から"メモリースティック　デュオ"を抜く。

- プリンターが動作しなくなった場合は、USBケーブルを抜いてプリンターの電源を入れ直してから、操作をやり直してください。
- ワイド（16:9）の静止画を印刷すると、画像の左右が切れる場合があります。
- プリンターによっては、日時印刷に対応していないものがあります。プリンターの取扱説明書をご覧ください。
- 本機以外の機器で撮影した画像の印刷に関しては保証いたしません。
- PictBridge（ピクトブリッジ）とは、カメラ映像機器工業会（CIPA）で制定された統一規格のことです。メーカーや機種に関係なく、ビデオカメラやデジタルスチルカメラを直接プリンターに接続し、パソコンを使わずに画像を印刷できます。

外部機器をつなぐ端子について

本体

本体底面

1… シューカバーを開ける

2 ～ 4… 端子カバーを開ける

ハンディカムステーション

1 アクティブインターフェースシュー Active Interface Shoe（65 ページ）
専用マイクやフラッシュなどを使用時、本機から電源供給し、本機の電源スイッチに連動して、接続機器の電源入/切ができます。お使いになるアクセサリーの取扱説明書をあわせてご覧ください。

- 外部機器を接続するときは、シューカバーを開けてください。
- 外部機器が外れにくい構造になっています。取り付けるときは、押しながら奥まで差し込み、ネジを確実に締め付けてください。取り外すときは、ネジをゆるめ、上から押しながら外してください。
- 外部機器と接続すると、バッテリーの消耗は早くなります。
- フラッシュ（別売り）を付けたまま動画を撮影するときは、充電音が録音されないように、フラッシュの電源を切ってください。
- 別売りのフラッシュと内蔵フラッシュは同時に使えません。
- 外部マイク（別売り）を接続すると、内蔵ステレオマイク（26ページ）より優先されます。

2 LANC 端子（青色）

- ビデオ機器と周辺機器をつなぎ、テープ走行などをコントロールできます。

3 A/V 端子（34、60、62、82 ページ）

- A/V端子はハンディカムステーションと本機にそれぞれ装備しています。

4 DC IN 端子（9 ページ）

5 インターフェースコネクタ

6 DV 端子（i.LINK）（60、62、80、82 ページ）

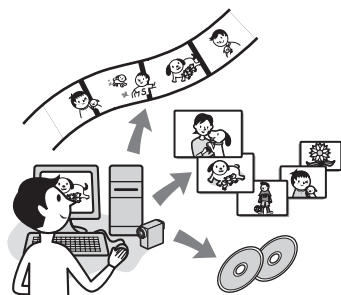
7 (USB)端子（72 ページ）

ダビングや編集をする

パソコンで「ファーストステップガイド」を見る前に

付属のCD-ROMからWindowsパソコンにPicture Packageをインストールすると、本機とパソコンを接続して、次のような操作を楽しむことができます。

- Macintoshをお使いのかたは、ソフトウェアや使える機能がWindowsとは異なります。
  詳しくはCD-ROM（付属）の「ファーストステップガイド」の6章をご覧ください。「ファーストステップガイド」について詳しくは75ページをご覧ください。
- 本機とパソコンをつなぐには次の2つの方法があります。
  – USBケーブルでつなぐ
    テープに記録された映像や音声、または“メモリースティック　デュオ”に記録されたファイルをパソコンに取り込んだり、“メモリースティック　デュオ”にファイルを書き込んだりする場合に向いています。
    “メモリースティック　デュオ”に記録されたファイルをパソコンに取り込むときは、パソコンの標準ドライバで動作するので、ソフトウェアのインストールは不要です。
  – i.LINKケーブルでつなぐ
    テープに記録された映像や音声をより鮮明に取り込むことができます。

接続について詳しくは、「ファーストステップガイド」をご覧ください。

画像をパソコンで見る

本機から取り込んだ画像を、サムネイル表示から選んで見ることができます。取り込んだ日付ごとに保存されます。

Myビデオ&Myスライドショーを自動作成

パソコンにコピーした動画や静止画を素材として、音楽や効果音付きのショートオリジナルビデオやショートオリジナルスライドショーを簡単に作成できます。

Myビデオを簡単自動作成

テープに撮影した動画を素材として、音楽や効果音付きのショートオリジナルビデオを簡単に作成できます。

テープをビデオCDにコピーする

テープの画像をビデオCDにコピーすることができます。

CD-Rに画像を保存する

パソコンに取り込んだ画像をバックアップとしてCD-Rに保存することができます。

ビデオCDの作成

メニュー付きの画像やスライドショーでビデオCDを作成することができます。ImageMixer VCD2は高精細静止画に対応しています。

USBストリーミング

本機で再生している画像や撮影している画像をパソコンで見ることができます。

ビデオキャプチャー

テープの全ての画像をパソコンに取り込めます。

- CD-ROM（付属）には次のソフトウェアが含まれています。
  – USBドライバ
  – Picture Package Ver.1.5.1
  – ImageMixer VCD2
  – 「ファーストステップガイド」

「ファーストステップガイド」について

「ファーストステップガイド」はパソコン上で見ることができるマニュアルです。本機とパソコンの接続や初期設定から、CD-ROM（付属）に含まれているソフトウェアを初めて使うときに必要な基本操作までを説明しています。「ソフトウェアと「ファーストステップガイド」をインストールする」（75ページ）をご覧になりながらインストールしたあとに、「ファーストステップガイド」を起動して、手順に従ってください。

ソフトウェアに付属のヘルプのご案内

ソフトウェアのすべての機能を説明しています。「ファーストステップガイド」で操作の概要を理解したうえで、さらに詳しい操作方法を知りたいときは、ヘルプをご覧ください。ヘルプを見るには、画面上の[?]マークをクリックしてください。

パソコン環境について

■ Windowsをお使いの場合

Picture Packageを使うときのパソコン環境

対応OS：Microsoft Windows 2000 Professional/Windows Millennium Edition/Windows XP Home Edition/Windows XP Professional
上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。
上記のOS内でもアップグレードした場合は動作保証いたしません。

CPU：PentiumⅢ 500MHz以上（PentiumⅢ 800MHz以上を推奨します。なお、ImageMixer VCD2をお使いの場合は、Pentium4 1.3GHz以上を推奨します。）

必要なソフトウェア：DirectX 9.0c以降（DirectXテクノロジに対応しておりますので、ご使用の際はDirectXが組み込まれている必要があります。）
Windows Media Player 7.0以降
Macromedia Flash Player 6.0以降

サウンドカード：16ビットのステレオサウンドカードおよびスピーカー

メモリー：64MB以上

ハードディスク：インストールに必要なディスク容量：約500MB以上/推奨するハードディスクの空き容量：6GB以上（編集する画像ファイルサイズにより異なります。）

ディスプレイ：4MBのVRAMを搭載したビデオカード、解像度は800×600ドット以上、High Color（16ビットカラー 65,000色）、DirectDrawドライバ対応（800×600ドット未満、256色以下では正常に動作しません。）

その他必要な装置：USB端子標準装備、DV端子（IEEE1394、i.LINK接続時）、ディスクドライブ（ビデオCD作成時には、CD-Rドライブが必要です。対応可能なドライブについて詳しくは、Picture Packageのホームページをご覧ください。
http://www.ppackage.com/）

“メモリースティック　デュオ”の画像をパソコンで見るときのパソコン環境

対応OS:Microsoft Windows 2000 Professional/Windows Millennium Edition/Windows XP Home Edition/Windows XP Professional
上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。
上記のOS内でもアップグレードした場合は動作保証いたしません。

CPU:MMX Pentium 200MHz以上

必要なソフトウェア:Windows Media Player(動画再生時に必要です。)

その他必要な装置:USB端子標準装備、ディスクドライブ

- パソコンにメモリースティック　スロットがある場合は、画像を保存した“メモリースティック　デュオ”をメモリースティック　デュオ　アダプター(別売り)に入れてから、パソコンのメモリースティック　スロットに差し込んで画像を取り込むこともできます。
- “メモリースティック　PRO　デュオ”をお使いの際にパソコンが“メモリースティック　PRO　デュオ”に対応していない場合は、パソコンのメモリースティック　スロットを使用せずに本機をUSBケーブルでつないでください。

■ Macintoshをお使いの場合

ImageMixer VCD2を使うときのパソコン環境

対応OS:Mac OS X(v10.1.5以降)

CPU:iMac、eMac、iBook、PowerBook、Power Mac G3/G4/G5シリーズ

メモリー:128MB以上

ハードディスク:インストールに必要なディスク容量:約250MB以上/推奨するハードディスクの空き容量:4GB以上(編集する画像ファイルサイズにより異なります。)

ディスプレイ:1,024×768ドット以上、カラー32,000色(この製品は1,024×768ドット、カラー256色では正しく動作しません。)

必要なソフトウェア:QuickTime 4以降(QuickTime 5を推奨します。)

その他必要な装置:ディスクドライブ

“メモリースティック　デュオ”の画像をパソコンで取り込むときのパソコン環境

対応OS:Mac OS 9.1/9.2/Mac OS X(v10.1/v10.2/v10.3/v10.4)

必要なソフトウェア:QuickTime 3.0以降(動画再生時に必要です。)

その他必要な装置:USB端子標準装備

- 本機とMacintoshパソコンをUSBケーブルで接続した場合は、本機のテープの画像をパソコンへ取り込むことはできません。テープの画像の取り込みは、本機とパソコンをi.LINKケーブルで接続し、OSに標準装備のソフトウェアを使用して行ってください。

ソフトウェアと「ファーストステップガイド」をインストールする

本機をパソコンにつなぐ前に、ソフトウェアをインストールします。1度インストールすれば、次回からはインストール不要です。
パソコンのOSによって、使用するソフトウェアが異なります。
Windowsパソコン：PicturePackage（ImageMixer VCD2含む）
Macintoshパソコン：ImageMixer VCD2
ソフトウェアの使用方法について詳しくは、同時にインストールされるパソコンで見るマニュアル「ファーストステップガイド」をご覧ください。

Windowsパソコンにインストールするときは

Windows 2000/Windows XPをお使いの場合は、Administrator権限でログオンしてください。

1 本機とパソコンがつながれていないことを確認する。

2 パソコンの電源を入れる。

ソフトウェアをインストールする前に、すべてのアプリケーションを終了してください。

3 パソコンのディスクドライブにCD-ROM（付属）をセットする。

インストール画面が表示されます。

Picture Packageのソフトウェアバージョンは「1.5」と表示されます。

インストール画面が表示されないときは

① [マイコンピュータ]をダブルクリックする。
② [Picture Package（E:）]（CD-ROM）* をダブルクリックする。

* ドライブ文字（（E:）など）は、使うパソコンによって異なることがあります。

4 [インストール]をクリックする。

Picture Packageのソフトウェアバージョンは「1.5」と表示されます。

パソコンのOSによっては、InstallSheild Wizardで「ファーストステップガイド」が自動的にインストールできないメッセージが表示されます。その場合、メッセージの指示に従って、パソコンに「ファーストステップガイド」を手動でコピーしてください。

次のページへつづく➡

5 **［日本語］を選び、［次へ］をクリックする。**

6 **［次へ］をクリックする。**

7 **［使用許諾契約］の内容をよく読み、同意される場合は［使用許諾契約の全条項に同意します］にチェックを入れ、［次へ］をクリックする。**

Picture Packageのソフトウェアバージョンは「1.5」と表示されます。

8 **インストール先を選択して、［次へ］をクリックする。**

9 **［インストール準備の完了］画面の［インストール］をクリックする。**

Picture Packageのインストールが始まります。

10 **「ファーストステップガイド」をインストールするために［次へ］をクリックする。**

パソコンによっては、この画面は表示されません。その場合は手順**11**に進んでください。

11 **［次へ］をクリックし、ImageMixer VCD2をインストールするために画面の指示に従う。**

12 もし[Microsoft(R) DirectX(R)をインストールしています]画面が表示されたら、DirectX 9.0cをインストールするために次の手順を行う。表示されない場合は、手順13に進む。

① [使用許諾契約]の内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

② [次へ]をクリックする。

③ [完了]をクリックする。

13 [はい、今すぐコンピュータを再起動します]がチェックされていることを確認して、[完了]をクリックする。

パソコンの電源がいったん切れたあと、自動的に電源が入ります(再起動)。

デスクトップ画面に[Picture Package Menu]と[Picture Package 保存先フォルダ](手順**10**でインストールができた場合は、[First Step Guide])のショートカットが表示されます。

14 パソコンからCD-ROMを取り出す。

- 本機とパソコンとの接続については、付属のCD-ROMに含まれている「ファーストステップガイド」をご覧ください(78ページ)。
- Picture Packageについてのお問い合わせは79ページをご覧ください。

Macintoshパソコンにインストールするときは

1 本機とパソコンがつながれていないことを確認する。

2 パソコンの電源を入れる。

ソフトウェアをインストールする前に、すべてのアプリケーションを終了してください。

3 パソコンのディスクドライブにCD-ROM(付属)をセットする。

4 CD-ROMアイコンをダブルクリックする。

5 「FirstStepGuide」フォルダの中の「FirstStepGuide.pdf」をコピーする。

6 CD-ROMの中の［MAC］フォルダの中の［IMXINST.SIT］を任意のフォルダーにコピーする。

7 コピー先のフォルダの中の［IMXINST.SIT］をダブルクリックする。

8 解凍された［ImageMixerVCD2_Install］をダブルクリックする。

9 承認画面が表示されたら、ユーザーの名前とパスワードを入力する。

ImageMixer VCD2のインストールが始まります。

- ImageMixer VCD2の詳しい操作方法はソフトウェアのオンラインヘルプをご覧ください。
- 本機とパソコンとの接続については、付属のCD-ROMに含まれている「ファーストステップガイド」をご覧ください。

「ファーストステップガイド」を見る

「ファーストステップガイド」を表示する

Windowsパソコンで起動するには

Microsoft Internet Explorer Ver.6.0以降で見ることをおすすめします。
デスクトップの アイコンをダブルクリックする。

［スタート］→［プログラム］（Windows XPをお使いのかたは［すべてのプログラム］）→［Picture Package］→［First Step Guide］を選んで、「First Step Guide」を起動させることもできます。

- 「ファーストステップガイド」を自動インストールせずにHTML形式でご覧になる場合は、CD-ROMの［FirstStepGuide］にある言語フォルダをパソコンにコピーし、［index.html］をダブルクリックしてください。
- 下記のときは言語フォルダ内にある「FirstStepGuide.pdf」をご覧ください。
  - 「ファーストステップガイド」を印刷したい。
  - ブラウザの設定により、推奨環境でも正常に表示されない。
  - HTML形式で自動インストールできない。

Macintoshパソコンで起動するには

「FirstStepGuide.pdf」をダブルクリックする。

PDFをご覧になるにはAdobe Readerが必要です。パソコンにインストールされていない場合には下記のホームページからダウンロードすることができます。
http://www.adobe.co.jp/

ソフトウェアについてのお問い合わせ先

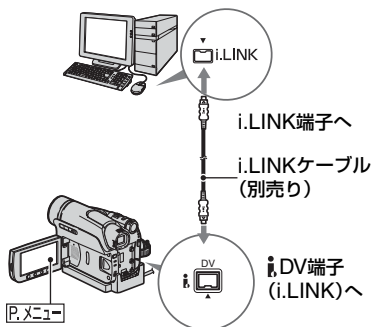
ピクセラユーザーサポートセンター

Picture Package、ImageMixer VCD2に関する問い合わせを受け付けています。
電話:06-6633-3900
受付時間:月～日曜日　午前9時～午後5時(ただし、年末、年始、祝日を除く)
Picture Package :
http://www.ppackage.com/
ImageMixer VCD2 :
http://www.ImageMixer.com/

著作権について

あなたがCDやネットワークなどから入手した音楽著作物の著作権は、それぞれの音楽著作物の権利者に帰属します。これらの音楽著作物を、法令で認められている私的使用などの範囲を超えて使用(複製、改変、再生、アップロード、特定多数もしくは不特定多数が利用できる家庭外ネットワークへ送信すること又は送信可能な状態におくこと、譲渡、頒布、貸与、ライセンス、販売、出版などを含む)することは、権利者からの許可を得ない限り認められていません。ソニーによるPicture Package の提供は、これら第三者の音楽著作物に関してあなたになんらの権利を許諾するものではありませんので、ご注意ください。

DVDを作る(おまかせ「Click to DVD」)

ソニーオリジナル・ソフトウェア「Click to DVD Ver.1.2」以降があらかじめインストールされているソニーパーソナルコンピューターVAIOシリーズ*にi.LINKケーブルで本機をつなぐと、テープの画像からDVDを作成することができます。画像の取り込みからDVDへの書き込みまで、すべて自動で行います。
ここでは、テープ1本をそのままDVDに取り込む手順を説明します。使用できるパソコン、動作環境や「Click to DVD」について、詳しくは下記のURLをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

- この機能はi.LINKケーブルで接続した場合のみ使えます。USBケーブルは使えません。
- 本機をハンディカムステーションに取り付けたまま、ビデオカセットを出し入れしないでください。故障の原因になります。

* パソコンのDVDドライブがDVDへの書き込みに対応している必要があります。

おまかせ「Click to DVD」機能を初めて使うときは

おまかせ「Click to DVD」機能を使うと、本機をパソコンに接続すれば、簡単な操作でDVDを作成できます。この機能を使うときは、あらかじめパソコンの「Click to DVD おまかせサーバー」を起動する必要があります。

① パソコンの電源を入れる。
② スタートメニューをクリックし、[すべてのプログラム]を選ぶ。
③ 表示されたプログラムの中から[Click to DVD]を選び、「Click to DVD おまかせサーバー」をクリックする。
「Click to DVD おまかせサーバー」が起動する。

- 「Click to DVD おまかせサーバー」は、1度起動すると、2回目以降はパソコンの電源を入れるだけで自動的に起動します。
- 「Click to DVD おまかせサーバー」は、Windows XPのユーザーごとに起動の設定がされます。

---

1 パソコンの電源を入れる。

i.LINKを使うアプリケーションが起動しているときは、終了しておいてください。

2 本機の電源を準備する。

DVDの作成には時間がかかるので、付属のACアダプターを使ってください。

3 本機の電源スイッチを「見る/編集」にする。

4 録画済みのカセットを入れる。

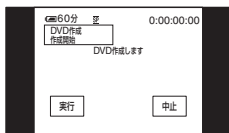
5 i.LINKケーブルで、ハンディカムステーションとパソコンをつなぐ(80ページ)。

- 接続するときは、端子の向きを確認してからつないでください。無理に押し込むと、端子部が破損することがあります。また、本機の故障の原因となります。
- 詳しくは、CD-ROM(付属)の「ファーストステップガイド」をご覧ください(78ページ)。

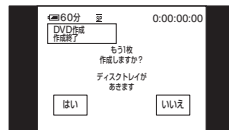
6 **本機の液晶画面で P.メニュー→[メニュー]→編集/変速再生→[DVD作成]→ OK をタッチ。**

パソコンに「Click to DVD」画面が表示されます。

7 **パソコンのディスクドライブに書き込み用DVDをセットする。**

8 **本機の液晶画面で[実行]をタッチ。**

パソコンの作業状況が本機画面に表示されます。
[取り込み]:本機からテープの画像を取り込む。
[変換]: 取り込んだ画像をMPEG2方式に変換する。
[書き込み]:変換されたテープの画像をDVDに書き込む。

- すでに書き込まれているDVD-RW/+RWを使うと、[書き込み済みディスクです記録されているデータは消去されます]が表示されます。[実行]をタッチすると書き込み済みのデータは消去され、新しいデータを書き込みます。

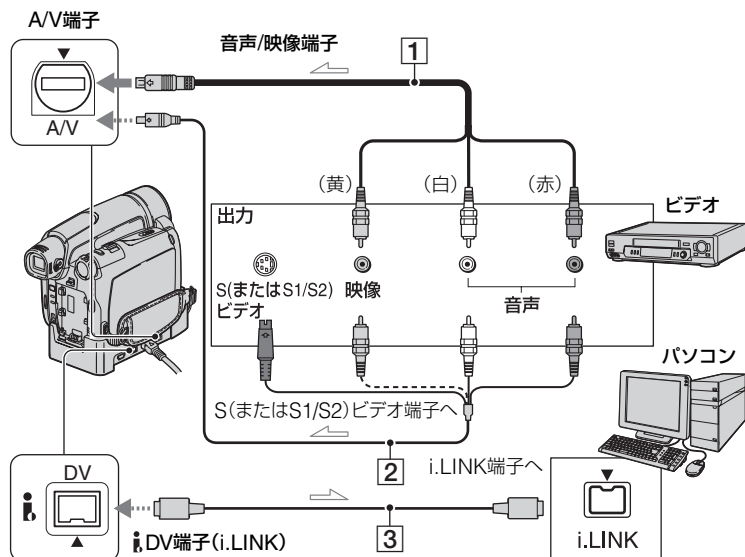
9 **DVD作成を終了するには、本機の液晶画面で[いいえ]をタッチ。**

パソコンのディスクトレイが自動的に開きます。
同じ内容のDVDをもう1枚作成するときは、[はい]をタッチします。ディスクトレイが自動的に開きます。新しい書き込み用DVDをディスクドライブにセットして手順**8**、**9**を行ってください。

DVD作成を途中でやめるには

本機の液晶画面で[中止]をタッチ。

- 本機画面に[終了処理中です]と表示されているときはDVD作成を中止できません。
- 画像を取り込むまで、i.LINKケーブルを抜いたり、本機の電源スイッチを切り換えたりしないでください。
- 本機画面に[変換]、[書き込み]が表示されているときはすでに画像の取り込みは終了しています。i.LINKケーブルを抜いたり、本機の電源を切っても、パソコンはDVD作成を続けます。
- 次のときはパソコンは画像の取り込みを中止し、その時点までのDVDを作成します。詳しくは「Click to DVD」のヘルプをご覧ください。
  – テープの途中に10秒以上の無記録部分がある
  – テープの画像が録画された順番になっていない
  – ワイド(16:9)と4:3の画像が混在している(「Click to DVD Ver.2.2」以前のバージョンのみ)
- 次のとき、[DVD作成]操作はできません。
  – テープ走行中
  – "メモリースティック デュオ"に画像を記録中
  – パソコンから「Click to DVD」を起動させたとき
  – 本機のメニューで[A/V入力→DV出力]が[入]に設定されている

本機を経由してビデオ機器をパソコンにつなぐ（デジタル変換機能）

AV接続ケーブル1またはS映像ケーブル付きのAV接続ケーブル2とi.LINKケーブル3を本機につないで、ビデオ機器などのアナログ信号をデジタル信号に変換して出力し、パソコンなどのデジタル機にダビングできます。本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください(9ページ)。
ビデオ信号の取り込みができるソフトウェアがあらかじめパソコンにインストールされている必要があります。

1 AV 接続ケーブル(付属)

A/V端子はハンディカムステーションおよび本機にそれぞれ装備しています(71ページ)。AV接続ケーブルは、ハンディカムステーション、または本機のどちらか一方に接続してください。A/V端子は、アナログ信号を入力します。

2 S 映像ケーブル付きの AV 接続ケーブル(別売り)

S(またはS1/S2)映像端子のある機器につなぐときは、このケーブルで接続すると、付属のAV接続ケーブルに比べ、画像をより忠実に再現できます。白と赤のプラグ(左右音声端子)とS映像プラグ(S映像端子)のみ接続し、黄色いプラグ(映像端子)は接続不要です。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。

3 i.LINK ケーブル(別売り)

あらかじめメニューの[画面表示出力]を[パネル]に設定する(56ページ)(お買い上げ時の設定は[パネル])。

1 **ビデオ機器(アナログ)の電源を入れる。**

2 **本機の電源スイッチを「見る/編集」にする。**

3 **本機の液晶画面で[P.メニュー]→[メニュー]→基本設定→[A/V入力→DV出力]→[入]→[OK]→[×]をタッチ。**

4 **ビデオ機器(アナログ)で再生を始める。**

5 **パソコンで取り込みを開始する。**

操作について詳しくはソフトウェアに付属の取扱説明書、またはオンラインヘルプをご覧ください。

取り込み終わったら、パソコンの取り込みを停止し、ビデオ機器の再生を停止する。

- CD-ROM(付属)に含まれているソフトウェア(Picture PackageおよびImageMixer VCD2)は、デジタル変換機能に対応していません。
- 本機に入力される映像信号の状態によっては、本機から正しく画像を出力できないことがあります。
- 著作権保護の信号が記録されているソフトウェアの画像は、本機を経由して出力しても、パソコンへ取り込めません。
- i.LINKケーブルの代わりにUSBケーブルでもつなげますが、画像がなめらかに映らないことがあります。
- USBケーブルやi.LINKケーブルで本機とパソコンを接続する場合、端子の向きを確認してからつないでください。無理に押し込むと、端子部が破損することがあります。また、本機の故障の原因となります。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、
テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にお問い合わせください。

全体操作/シンプル操作について

電源が入らない。

- 充電されたバッテリーを取り付ける（9ページ）。
- ACアダプターをコンセントに差し込む（9ページ）。
- 本機をハンディカムステーションに正しく取り付ける（10ページ）。

電源が入っているのに操作できない。

- 電源（バッテリーまたはACアダプターの電源コード）を取り外し、約1分後に電源を取り付け直す。
- RESET（リセット）ボタン（26ページ）を先のとがったもので押す。（パーソナルメニュー項目以外のすべての設定が解除される。）

ボタンが操作できない。

- シンプル操作中は使えるボタンが限られます（21ページ）。

シンプル操作から通常操作に切り換えられない。

- 撮影中とUSBケーブルを使って他機と通信中は、シンプル操作から通常操作への切り換えはできません。

シンプル操作にすると、設定が変わる。

- シンプル操作に切り換えると、画面に表示されない項目は初期設定に戻る。シンプル操作を終了すると、シンプル操作前の状態に戻る（20、38ページ）。

デモモードに切り換わらない。

- NIGHTSHOTスイッチが「入」のとき、デモンストレーションできません（24ページ）。
- カセットと“メモリースティック　デュオ”を取り出す（17ページ）。

本体があたたかくなる。

- 本機使用中に本体があたたかくなることがありますが、故障ではありません。

バッテリー/電源について

電源が途中で切れる。

- お買い上げ時の設定では、操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れる（自動電源オフ）。[自動電源オフ]の設定を変更する（57ページ）か、もう1度電源を入れる（13ページ）、またはACアダプターを使用する。
- バッテリーを充電する（9ページ）。

バッテリーの充電中、充電ランプが点灯しない。

- 電源スイッチを「切（充電）」にする（9ページ）。
- バッテリーを正しく取り付け直す（9ページ）。
- コンセントにプラグを正しく差し込む。
- 本機をハンディカムステーションに正しく取り付ける（10ページ）。
- すでに充電が完了している（10ページ）。

バッテリーの充電中、充電ランプが点滅する。

- バッテリーを正しく取り付け直す（9ページ）。それでも点滅するときは、故障のおそれがあるため、コンセントからプラグを抜き、テクニカルインフォメーションセンターに問い合わせる（裏表紙）。

バッテリー残量が充分あるのに電源がすぐ切れる。

- 残量表示にズレが生じている、または充電が不充分。満充電し直すと残量が正しく表示される（9ページ）。

バッテリー残量が正しく表示されない。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不充分。故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも正しく表示されないときは、寿命のため、新しいバッテリーに交換する（9、112ページ）。
- 使用状況や環境によっては正しく表示されません。液晶画面を開閉したときは正しい残量時間を表示するまで約1分かかります。

バッテリーの消耗が早い。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不充分。故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも消耗が早いときは、寿命のため、新しいバッテリーに交換する（9、112ページ）。

ACアダプターを使用中、本機に不具合が生じる。

- 電源を切り、コンセントからプラグを抜いてから、もう1度電源をつなぐ。

液晶画面/ファインダーについて

タッチパネルをタッチすると、画面が波打ったようになる。

- 故障ではありませんが、液晶画面を強く押さないでください。

液晶画面またはファインダーに見慣れない画面が現れる。

- ［デモモード］になっている（52ページ）。液晶画面のどこかをタッチする、またはカセットや“メモリースティック　デュオ”を入れる。

見慣れない表示が出る。

- 警告表示またはお知らせメッセージです（103ページ）。

液晶画面に画像が残る。

- 電源を入れた状態でバッテリーを外したり、DCプラグを抜いたためで、故障ではありません。

液晶画面バックライトを「切」にできない。

- シンプル操作中（20ページ）は画面表示/バッテリーインフォボタンの長押しの操作はできません。

画面表示を消すことができない。

- ［ⓘ］を消すことはできません。［ⓘ］をタッチしてお知らせメッセージを確認する（104ページ）。

タッチパネルのボタンが表示されない。

- 液晶画面を軽くタッチする。
- 画面表示/バッテリーインフォボタン（またはリモコンの画面表示ボタン）を押す（15、32ページ）。

タッチパネルのボタンが操作できない/正しく操作できない。

- 画面を調節（［キャリブレーション］）する（115ページ）。
- 画面の比率を変更するとタッチパネルのボタンや表示の比率も切り換わります（19ページ）。

ファインダーの画像がはっきりしない。

- 視度調整つまみを画像がはっきり見えるように動かす（14ページ）。

ファインダーの画像が消えている。

- 液晶画面を閉じてください。液晶画面が開いているとファインダーには画像は映りません（14ページ）。

カセットについて

カセットが取り出せない。

- 電源（バッテリーやACアダプター）が正しく接続されているか確認する（9ページ）。
- バッテリーを外して、もう1度取り付ける（9ページ）。
- 充電されたバッテリーを取り付ける（9ページ）。
- 本機が結露しかけている（114ページ）。

カセットメモリー付きカセットで、カセットメモリー表示やタイトル表示が出ない。

- 本機は、カセットメモリーに対応していないため、表示されません。

テープ残量表示が出ない。

- 常に表示させたいときは、[残量表示]を[入]にする（56ページ）。

テープの巻き戻し、早送り時の音が大きい。

- ACアダプター使用時は、バッテリー使用時より高速になるため音が大きくなります。故障ではありません。

"メモリースティック　デュオ"について

操作を受け付けない。

- 電源スイッチを「撮る－メモリー」または「見る/編集」にする（13ページ）。
- "メモリースティック　デュオ"を入れる（18ページ）。
- パソコンでフォーマットした"メモリースティック　デュオ"を入れている場合は、本機でフォーマットし直す（47ページ）。

"メモリースティック　デュオ"の画像を消去できない。

- 誤消去防止スイッチのある"メモリースティック　デュオ"は、誤消去防止を解除する（110ページ）。
- プロテクトを解除する（68ページ）。
- インデックス表示で1度に消せる画像は100枚までになります。

"メモリースティック　デュオ"の画像を全消去できない。

- 誤消去防止スイッチのある"メモリースティック　デュオ"は、誤消去防止を解除する（110ページ）。
- プロテクトを解除する（68ページ）。

"メモリースティック　デュオ"をフォーマットできない。

- 誤消去防止スイッチのある"メモリースティック　デュオ"は、誤消去防止を解除する（110ページ）。

次のページへつづく➡

プロテクトが実行できない。

- 誤消去防止スイッチのある"メモリースティック　デュオ"は、誤消去防止を解除する（110ページ）。
- インデックス表示にしてから、プロテクトを実行し直す（68ページ）。

プリントマークが実行できない。

- 誤消去防止スイッチのある"メモリースティック　デュオ"は、誤消去防止を解除する（110ページ）。
- インデックス表示にしてから、プリントマークを実行し直す（68ページ）。
- プリントマークは1,000枚以上付けられません。
- 動画には付けられません。

データファイル名が正しくない。

- ディレクトリー構造が規格に準拠しないと、ファイル名のみ表示されることがある。
- ファイルが壊れている。ソニー製"メモリースティック　デュオ"をお使いのときは、下記のホームページをご覧ください。
  メモリースティック　データ復旧サービス
  http://www.sony.co.jp/Products/mssupport/datarescue/jp.html
- 本機で対応しているファイル形式を使う（110ページ）。

データファイル名が点滅している。

- ファイルが壊れている。ソニー製"メモリースティック　デュオ"をお使いのときは、下記のホームページをご覧ください。
  メモリースティック　データ復旧サービス
  http://www.sony.co.jp/Products/mssupport/datarescue/jp.html
- 本機で対応しているファイル形式を使う（110ページ）。

撮影について

「撮影時の画像調節について」（90ページ）、「"メモリースティック　デュオ"について」（87ページ）もご覧ください。

録画スタート/ストップボタンを押しても、テープが走行しない。

- 電源スイッチを「撮る－テープ」にする（22ページ）。
- テープが最後まで行っている。巻き戻すか、新しいカセットを入れる。
- カセットの誤消去防止ツマミをRECにする。または新しいカセットを入れる（109ページ）。
- 結露でテープがヘッドドラムに貼り付いている。カセットを取り出して、約1時間してから入れ直す（114ページ）。

“メモリースティック　デュオ”に撮影できない。

- 誤消去防止スイッチのある“メモリースティック　デュオ”は、誤消去防止を解除する（110ページ）。
- メモリー容量いっぱいの場合は、不要な画像を消す（67ページ）。
- 本機で“メモリースティック　デュオ”をフォーマットし直すか（47ページ）、別の“メモリースティック　デュオ”を入れる（18ページ）。
- 次の設定のとき、テープ撮影中に静止画を記録することはできません。
  – [プログレッシブ記録]
  – [スムーズインターバル録画]

電源スイッチの位置により画角が異なる。

- 「撮る－メモリー」のときの画角は「撮る－テープ」のときより広くなる。

テープできれいにつなぎ撮りできない。

- エンドサーチする（31ページ）
- カセットを取り出さない（電源を切ってもきれいにつなぎ撮りできます）。
- 同じテープにSPとLPの両モードを混ぜてつなぎ撮りしない。
- LPモードでつなぎ撮りしない。

静止画撮影時にシャッター音が出ない。

- [操作音]を[入]にする（56ページ）。

フラッシュが発光しない。

- 次の設定のとき、フラッシュ撮影はできません。
  – テープ撮影中
  – [SUPER NS]
  – [COLOR SLOW S]
  – [デジタルエフェクト]
  – [プログレッシブ記録]
  – [連写]
- 自動調節や⊙（自動赤目軽減）にしていても、次の設定のときフラッシュは自動発光しません。
  – NightShot
  – [プログラムAE]の[スポットライト]、[サンセット＆ムーン]または[風景]
  – [カメラ明るさ]
  – [スポット測光]

別売りのフラッシュが発光しない。

- フラッシュの電源が入っていない。または、正しく取り付けられていない。

エンドサーチができない。

- 撮影後にカセットを取り出さない（31ページ）。
- カセットを入れてからエンドサーチするまでに、1回も撮影していない。

エンドサーチが誤動作する。

- テープの始めや途中に無記録部分があるためで、故障ではありません。

スムーズインターバル録画が停止する。[スムーズインターバル録画はエラーにより途中終了しました]と表示されて、録画が停止した。

- ビデオヘッドが汚れている可能性がある。別売りのクリーニングカセットできれいにしてください。
- 最初からやり直す。
- ソニー製ミニDVカセットを使う。

撮影時の画像調節について

「メニュー操作について」（93ページ）もご覧ください。

オートフォーカスができない。

- [フォーカス]を[オート]にする（42ページ）。
- オートフォーカスが働きにくい状態のときは、手動でピントを合わせる（42ページ）。

[手ぶれ補正]ができない。

- [手ぶれ補正]を[入]にする（44ページ）。

逆光補正ができない。

- 次の設定にすると、逆光補正は解除されます。
  – [カメラ明るさ]の[マニュアル]
  – [スポット測光]
- シンプル操作中は、逆光補正ができません（21ページ）。

[フラッシュレベル]を変更できない。

- シンプル操作中は、[フラッシュレベル]（43ページ）を変更できません。

[デジタルズーム]ができない。

- [テレマクロ]中は[デジタルズーム]は働きません。

ろうそくの火やライトなどを暗い背景の中で撮ると、縦に帯状の線が出る。

- 背景とのコントラストが強い被写体のときに出る現象で、故障ではありません。

明るい被写体を映すと、縦に尾を引いたような画像になる。

- スミア現象と呼ばれるもので、故障ではありません。

画面に白や赤、青、緑の点が出ることがある。

- [スローシャッター]、[SUPER NS]または、[COLOR SLOW S]のときに出る現象で、故障ではありません。

画像の色が正しくない。

- NightShotを解除する（24ページ）。

画面が白すぎて画像が見えない。

- NightShot（24ページ）、逆光補正（25ページ）を解除する。

画面が暗すぎて画像が見えない。

- 画面表示/バッテリーインフォボタンを数秒間押したままにして、バックライトを点灯する（14ページ）。

画像が明るくなる、ちらつく（フリッカー）、色が変化する。

- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で、[ソフトポートレート]や[スポーツレッスン]モードで撮影するとこのような症状が現れることがありますが、故障ではありません。[プログラムAE]を解除すると症状が軽減されます（40ページ）。

テレビやパソコンの画面を撮影すると黒い帯が出る。

- [手ぶれ補正]を[切]にする（44ページ）。

再生について

「"メモリースティック　デュオ"について」（87ページ）もご覧ください。

テープ再生ができない。

- 電源スイッチを「見る/編集」にする。
- テープを巻き戻す（23ページ）。

"メモリースティック　デュオ"が正しい画像サイズや比率で再生できない。

- 他機で撮影した画像は、正しい画像サイズで表示されないことがあります。故障ではありません。
- "メモリースティック　デュオ"に記録されたワイド（16:9）動画を再生すると上下に黒い帯が入って見えますが、故障ではありません。

“メモリースティック　デュオ”の画像データが再生できない。

- パソコンでフォルダやファイル名を変更、または画像加工すると、再生できない場合があります（ファイル名が点滅）。故障ではありません（111ページ）。
- 他機で撮影した画像は、再生できないことがあります。故障ではありません（111ページ）。

画像に横線が入る、画像がぼけたり、映らなかったりする。

- ビデオヘッドが汚れているので、別売りのクリーニングカセットできれいにする（115ページ）。

細かい模様がちらつく、斜めの線がギザギザになる。

- ［シャープネス］で［ー］側に調整する（41ページ）。

音声が小さい。または聞こえない。

- ［バイリンガル］を［切］にする（54ページ）。
- 音量を大きくする（23ページ）。
- ［音声ミックス］を［ST2］側（アフレコ音声）から最適な音声になるまで調節する（66ページ）。
- S映像プラグだけでつないでいるため。AV接続ケーブルの白と赤のプラグもあわせてつなぐ（34ページ）。

音声が途切れる。

- ビデオヘッドが汚れているので、別売りのクリーニングカセットできれいにする（115ページ）。

[ー ー ー]が表示される。

- 日付時刻を設定しないで録画したテープを再生している。
- テープの無記録部分を再生している。
- テープに傷やノイズがあると、日時やカメラデータを読めません。

ノイズが現れ、画面上にPALと表示される。

- テープに記録されているTVカラーシステムがPALなど、本機のカラーシステム（NTSC）と違うため（108ページ）。故障ではありません。

画面上に♪4ch-12bと表示される。

- 他機で4CHマイク記録されたテープを再生している。本機は4CHマイク記録には対応していません。

日付サーチが正しく操作できない。

- 日付を変更したときは、2分以上撮影する。撮影時間が短いと正しく検出されない場合があります。
- テープの始めや途中に無記録部分があると、日付サーチが正しく働かないことがあります。故障ではありません。

リモコンについて

付属のワイヤレスリモコンが操作できない。

- [リモコン]を[入]にする(56ページ)。
- リモコンと本機リモコン受光部の間にある障害物を取り除く。
- 本機のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていると、リモコン操作できないことがある。
- 電池を交換する。電池の+極と−極を正しく入れる(116ページ)。
- コンバージョンレンズ(別売り)を付けていると、リモコン受光部を妨げることがあるため、コンバージョンレンズを外す。

リモコン操作中にほかのビデオが誤動作する。

- ビデオのリモコンスイッチをVTR2以外のモードに切り換える。
- 黒い紙でビデオのリモコン受光部をふさぐ。

メニュー操作について

メニュー項目が灰色で表示される。

- その撮影/再生条件では選択できません。

P.メニューが表示されない。

- シンプル操作中は使用可能なメニューが限られます。シンプル操作を解除する(21ページ)。

[プログラムAE]ができない。

- 次の設定のとき、[プログラムAE]はできません。
  - NightShot
  - [SUPER NS]
  - [COLOR SLOW S]
  - [テレマクロ]
- 電源スイッチを「撮る−メモリー」にしたとき、[スポーツレッスン]はできません。

[スポット測光]ができない。

- 次の設定のとき、[スポット測光]はできません。
  - NightShot
  - [SUPER NS]
  - [COLOR SLOW S]
  - [デジタルエフェクト]の[シネマチェックエフェクト]
- [プログラムAE]を設定すると[スポット測光]は[オート]に戻る。

[カメラ明るさ]を手動で調節できない。

- 次の設定のとき、手動で明るさを調節できません。
  - NightShot
  - [SUPER NS]
  - [COLOR SLOW S]
  - [デジタルエフェクト]の[シネマチックエフェクト]
- [プログラムAE]を設定すると[カメラ明るさ]は[オート]に戻る。

[ホワイトバランス]を調節できない。

- NightShotや[SUPER NS]中は、[ホワイトバランス]は調節できません。

[シャープネス]が調節できない。

- [デジタルエフェクト]の[シネマチックエフェクト]中は、[シャープネス]は調節できません。

[AEシフト]が操作できない。

- [カメラ明るさ]が[マニュアル]になっていると[AEシフト]は操作できません。

[スポットフォーカス]ができない。

- [プログラムAE]中は、[スポットフォーカス]はできません。

[テレマクロ]ができない。

- 次の設定のとき、[テレマクロ]はできません。
  - [プログラムAE]
  - テープまたは“メモリースティック　デュオ”に動画を録画中

[SUPER NS]ができない。

- 次の設定のとき、[SUPER NS]は働きません。
  - [フェーダー]
  - [デジタルエフェクト]
  - [プログラムAE]

[COLOR SLOW S]が正しくできない。

- まったく光のない場所では、[COLOR SLOW S]が正しく働かないときがあるため、NightShotまたは[SUPER NS]で撮影する。
- 次の設定のとき、[COLOR SLOW S]は働きません。
  – [フェーダー]
  – [デジタルエフェクト]
  – [プログラムAE]
  – [カメラ明るさ]
  – [スポット測光]

[プログレッシブ記録]ができない。

- [デジタルエフェクト]の[シネマチックエフェクト]中は、[プログレッシブ記録]はできません。

[フェーダー]ができない。

- 次の設定のとき、[フェーダー]はできません。
  – [セルフタイマー]
  – [SUPER NS]
  – [COLOR SLOW S]
  – [デジタルエフェクト]
  – [コマ撮り]
  – [スムーズインターバル録画]

[デジタルエフェクト]ができない。

- 次の設定のとき、[デジタルエフェクト]はできません。
  – [SUPER NS]
  – [COLOR SLOW S]
  – [フェーダー]
- [プログラムAE]が[オート]以外のとき、[シネマチックエフェクト]、[スローシャッター]、[オールドムービー]は働きません。
- [ピクチャーエフェクト]中は、[オールドムービー]は働きません。
- 次の設定のとき、[シネマチックエフェクト]は働きません。
  – [カメラ明るさ]が[マニュアル]のとき
  – [AEシフト]が0以外のとき
  – [プログレッシブ記録]
  – [ピクチャーエフェクト]

[スムーズインターバル録画]ができない。

- [デジタルエフェクト]の[シネマチックエフェクト]や[時間差モーション]中は、[スムーズインターバル録画]できません。

困ったときは

次のページへつづく→

ダビング、編集、外部機器接続について

本機から出力された映像が、つないだ機器の画面に映らない。

- 本機をハンディカムステーションに取り付けるときは、本機のDC IN端子のカバーを閉じ、正しい方向にしっかり取り付けてください（10ページ）。

つないだ機器（外部入力）の映像が、液晶画面やファインダーに映らない。

- ［画面表示出力］を［パネル］にする（56ページ）。
- ［画面表示出力］（56ページ）が、［ビデオ出力/パネル］のとき、画面表示/バッテリーインフォボタンを押すと、外部入力ができなくなります。
- 他機につないだ映像プラグを確認し、［ビデオ入力］を正しく設定する（55ページ）。

つないだ機器（外部入力）の映像が拡大できない。

- 外部入力している画像は本機でズームできません。

つないだ機器の画面にタイムコードなどが表示される。

- AV接続ケーブルを使って接続するときは、メニューの［画面表示出力］を［パネル］にする（56ページ）。

AV接続ケーブルを使ってダビングができない。

- ［画面表示出力］を［パネル］にする（56ページ）。
- AV接続ケーブルが正しくつながれていない。
  他機の画像を本機へダビングする場合は他機の出力端子へ、本機の画像を他機へダビングする場合は他機の入力端子へつながれているか確認する（60、62ページ）。

アフレコした音声が聞こえない。

- ［音声ミックス］を［ST1］（オリジナルテープ音声）側から最適な音声になるまで調節する（66ページ）。

つないだ機器の映像が表示されない。

- 入力信号がNTSCではないため（108ページ）。

テープから“メモリースティック　デュオ”へ静止画を取り込めない。

- 繰り返しダビングしているなど記録状態の悪いテープは、静止画記録できなかったり、乱れた画像が記録されたりすることがあります。

テープから“メモリースティック　デュオ”へ動画を取り込めない。

- 次の場合、録画できなかったり、乱れた画像が記録されたりすることがあります。
  – テープに無記録部分がある。
  – 繰り返しダビングしているなど記録状態の悪いテープから画像を取り込もうとした。
  – 入力信号が途絶えた。

本機へAV接続ケーブルを使って外部入力できない。

- [画面表示出力](56ページ)が[ビデオ出力/パネル]のとき、外部入力できません。
- 画面表示/バッテリーインフォボタンを押すと、外部入力できません。

画像や音声が乱れたり、画像が暗い。

- AV接続ケーブルが本機とハンディカムステーションに同時につながっている。どちらか一方からAV接続ケーブルを抜いてください。

パソコンとの接続について

本機がパソコンに認識されない。USB i.LINK

- パソコンと本機からケーブルを抜き、もう1度しっかりと差し込む。
- ハンディカムステーションに正しく取り付ける(10ページ)。
- キーボード、マウス、本機以外で、パソコンの⇆(USB)端子につながれている他の機器を取り外す。
- パソコンと本機からケーブルを抜き、パソコンを再起動させてから、正しい手順でもう1度パソコンと本機をつなぐ。

付属のCD-ROMをパソコンにセットすると、エラーメッセージが出る。

- パソコンのディスプレイを次のように設定する。
  – Windowsパソコンをお使いの場合
    800×600ドット、High Color(16bitカラー65,000色)以上
  – Macintoshパソコンをお使いの場合
    1,024×768ドット、32,000色モード以上

パソコンで本機が映している映像が見られない。USB i.LINK

- ケーブルを抜き、本機の電源を入れてから、もう1度つなぐ。
- USBケーブルでWindowsパソコンに接続しているときは、電源スイッチを「撮る－テープ」にして、[USBカメラ]を[パソコン接続ストリーム]にする(55ページ)。

テープの画像がパソコン画面に表示されない。USB i.LINK

- ケーブルを抜き、本機の電源を入れてから、もう1度つなぐ。
- USBケーブルでWindowsパソコンに接続しているときは、電源スイッチを「見る/編集」にして、[USB機能選択]を[パソコン接続ストリーム]にする(52ページ)。

テープの画像がMacintoshパソコンで見られない。USB

- 本機とパソコンをUSBケーブルで接続しているときは、テープの画像を取り込めません。本機とパソコンをi.LINKケーブルで接続して、OSに標準装備のソフトウェアを使用してください。

次のページへつづく➡

“メモリースティック　デュオ”の画像がパソコンで見られない。 USB

- “メモリースティック　デュオ”の向きを確かめて、本機に奥までしっかりと入れる。
- i.LINKケーブルでは取り込めないため、USBケーブルで取り込む。
- 本機の電源スイッチを「見る/編集」にして、[USB機能選択]を[パソコン接続メモリースティック]にする（52ページ）。
- テープ再生中や編集中など、本機を操作していると“メモリースティック　デュオ”はパソコンに認識されません。本機の操作を終了してから、もう1度パソコンとつなぐ。

[リムーバブルディスク]がパソコン画面に表示されない。 USB

- 本機に“メモリースティック　デュオ”を入れる。
- キーボード、マウス、本機以外で、パソコンの ψ（USB）端子につながれている他の機器を取り外す。
- 本機の電源スイッチを「見る/編集」にして、[USB機能選択]を[パソコン接続メモリースティック]にする（52ページ）。
- テープ再生中や編集中など、本機を操作していると“メモリースティック　デュオ”はパソコンに認識されません。本機の操作を終了してから、もう1度パソコンとつなぐ。

USBストリーミング中にテープの画像がWindowsパソコンの画面上に表示されない。 USB

- USBドライバをインストールする前に、USBケーブルを使って、本機とパソコンをつないだため。次の手順で、正しく認識されなかったドライバを削除してから、USBドライバをもう1度インストールする。

■ **Windows Meをお使いの場合**

1 本機がパソコンにつながっているかを確認する。

2 [マイコンピュータ]を右クリック→[プロパティ]をクリック。
[システムのプロパティ]画面が表示される。

3 [デバイスマネージャ]のタブをクリック。

4 正しく認識されなかった次のドライバが入っていたら、右クリック→[削除]をクリック。

– [サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ]の中に[USB オーディオデバイス]
– [その他のデバイス] に[USB Device]
– [ユニバーサルシリアルバスコントローラ] に[USB 互換デバイス]

5 [デバイス削除の確認]画面が表示されたら、[OK]ボタンをクリックして、削除する。

6 本機の電源を切って、USBケーブルを外したあと、パソコンを再起動する。

7 付属のCD-ROMをディスクドライブに入れる。

8 下記の手順でUSBドライバをインストールし直す。

1 [マイコンピュータ]をダブルクリック。
2 [PICTUREPACKAGE（E:）]（ディスクドライブ）*を右クリック。
* ドライブ文字（（E:）など）は、使うパソコンによって異なることがあります。
3 [開く]をクリック。

4 [Driver]をダブルクリック。

5 [Setup.exe]をダブルクリック。

- [USB オーディオデバイス]、[USB Device]、[USB 互換デバイス]以外を削除すると、パソコンが正常に動作しなくなることがあります。

■ **Windows 2000をお使いの場合**

AdministratorかAdministrator権限のユーザーIDでログオンしてください。

1 本機がパソコンにつながっていることを確認する。

2 [マイコンピュータ]を右クリック→[プロパティ]をクリック。
[システムのプロパティ]画面が表示される。

3 [ハードウェア]のタブ→[デバイスマネージャ]→[表示]→[デバイス(種類別)]をクリック。

4 正しく認識されなかった次のドライバが入っていたら、右クリックし、[アンインストール]をクリック。

– [USB(Universal Serial Bus)コントローラ]に[USB 複合デバイス]

– [サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ]に[USBオーディオデバイス]

– [その他のデバイス]に[Composite USB Device]

5 [デバイス削除の確認]画面が表示されたら、[OK]ボタンをクリックして削除する。

6 本機の電源を切って、USBケーブルを外したあと、パソコンを再起動する。

7 付属のCD-ROMをディスクドライブに入れる。

8 下記の手順でUSBドライバをインストールし直す。

1 [マイコンピュータ]をダブルクリック。

2 [PICTUREPACKAGE(E:)](ディスクドライブ)*を右クリック。

* ドライブ文字((E:)など)は、使うパソコンによって異なることがあります。

3 [開く]をクリック。

4 [Driver]をダブルクリック。

5 [Setup.exe]をダブルクリック。

- [USB 複合デバイス]、[USBオーディオデバイス]、[Composite USB Device]以外を削除すると、パソコンが正常に動作しなくなることがあります。

■ **Windows XPをお使いの場合**

コンピューターの管理者のユーザーIDでログオンしてください。

1 本機がパソコンにつながっていることを確認する。

2 [スタート]をクリック。

3 [マイコンピュータ]を右クリック→[プロパティ]をクリック。
[システムのプロパティ]画面が表示されます。

4 [ハードウェア]のタブ→[デバイスマネージャ]→[表示]→[デバイス(種類別)]をクリック。

次のページへつづく→

5 正しく認識されなかった次のドライバが入っていたら、右クリックし、[削除]をクリック。
– [USB（Universal Serial Bus）コントローラ]に[USB 複合デバイス]
– [サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ]に[USB オーディオデバイス]
– [その他のデバイス]に[USB Device]

6 [デバイス削除の確認]画面が表示されたら、[OK]ボタンをクリックして削除する。

7 本機の電源を切って、USBケーブルを外したあと、パソコンを再起動する。

8 付属のCD-ROMをディスクドライブに入れる。

9 下記の手順でUSBドライバをインストールし直す。
1 [マイコンピュータ]をダブルクリック。
2 [PICTUREPACKAGE（E:）]（ディスクドライブ）* を右クリック。
* ドライブ文字（（E:）など）は、使うパソコンによって異なることがあります。
3 [開く]をクリック。
4 [Driver]をダブルクリック。
5 [Setup.exe]をダブルクリック。

- [USB 複合デバイス]、[USB オーディオデバイス]、[USB Device]以外を削除すると、パソコンが正常に動作しなくなることがあります。

Windowsパソコンに画像の転送ができない。USB

- 次の手順で、“メモリースティック　デュオ”の画像をパソコンに表示する。

1 [マイコンピュータ]をダブルクリックする。

2 新しく認識された[リムーバブルディスク]のアイコンをダブルクリックする。
表示されるまで時間がかかることがあります。

3 画像ファイルをダブルクリックする。

本機の液晶画面に[シンプル操作に設定できません]または[シンプル操作を解除できません]と表示される。USB

- USB接続中はシンプル操作の設定、解除はできません。USB接続を外してから行ってください。

WindowsパソコンにUSBケーブルで接続しているとき、音声が出ない。USB

- パソコン環境によっては、音声が出ないことがあるため、次の手順で設定を変更する。

1 [スタート]→[プログラム]（Windows XPの場合は[すべてのプログラム]）→[Picture Package]→[Handycam Tools]→[USB Streaming Tool]の順に選び、[USB Streaming Tool]を起動する。

2 [音声デバイスの選択]画面で、音の出るデバイスを選択する。

3 画面の指示に従い[次へ]→[終了]をクリック。

USBストリーミング中に画像がコマ落ちする。USB

- 次の手順で設定を変更する。
  1. [スタート]→[プログラム](Windows XPの場合は[すべてのプログラム])→[Picture Package]→[Handycam Tools]→[USB Streaming Tool]の順に選び[USB Streaming Tool]を起動する。
  2. [画質の調整]画面でスライダーを(−)方向へ動かす。
  3. 画面の指示に従い、[次へ]→[終了]をクリック。

Picture Packageが正しく動作しない。

- Picture Packageを終了し、Windowsパソコンを再起動する。

Picture Packageを使用中にエラーメッセージが出る。

- 本機の電源スイッチは、Picture Packageを終了させてから切り換える。

Picture Package Auto Video、Producter、CD BackupまたはVCD Makerで、CD-Rドライブの認識ができない、またはCD-Rに書き込みができない。

- 対応可能なドライブについては、下記のホームページをご覧ください。
  http://www.ppackage.com/

ソニーパーソナルコンピューターVAIOシリーズにインストールされているソフトウェア「DVgate」を使って画像の編集をしようとすると、本機を認識しない。

- 「DVgate/DVgate Motion/DVgate Still」のバージョンが
  DVgate Ver.2.2.00/01
  DVgate Ver.2.1.xx
  DVgate Ver.2.0.xx
  DVgate Motion Ver.1.4.xx/DVgate Still Ver.1.2.xx
  に該当する場合は、本機との接続について詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
  http://www.sony.co.jp/cam/support/

本機の液晶画面に[USBストリーミング中です　メモリースティックの記録・再生はできません]が表示される。USB

- USBストリーミングが終わってから、"メモリースティック　デュオ"への記録、メモリー再生の操作をする。

困ったときは

「ファーストステップガイド」が正しく表示されない。

- 次の手順で「ファーストステップガイド」（FirstStepGuide.pdf）をご覧ください。
  1. 付属のCD-ROMをディスクドライブに入れる。
  2. ［マイコンピュータ］をダブルクリック。
  3. ［PICTUREPACKAGE（E:）］（ディスクドライブ）*を右クリック。
     * ドライブ文字（（E:）など）は、使うパソコンによって異なることがあります。
  4. ［エクスプローラ］をクリック。
  5. ［FirstStepGuide］をダブルクリック。
  6. ［JP］をダブルクリック。
  7. ［FirstStepGuide.pdf］をダブルクリック。

警告表示とお知らせメッセージ

自己診断表示/警告表示

液晶画面またはファインダーに、次のように表示されます。
お客様自身で対応できる場合でも、2、3回繰り返しても正常に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にお問い合わせください。

C:（またはE:）□□:□□（自己診断表示）

C:04:□□
- "インフォリチウム"以外のバッテリーが使われている。必ず"インフォリチウム"バッテリーを使う（112ページ）。
- ACアダプターのDCプラグを本機のDC IN端子にしっかりつなぐ（9ページ）。

C:21:□□
- 結露している。カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す（114ページ）。

C:22:□□
- ビデオヘッドが汚れている。別売りのクリーニングカセットできれいにする（115ページ）。

C:31:□□/C:32:□□
- 上記以外の症状になっている。カセットを入れ直し、もう1度操作し直す。ただし、本機が結露気味のときは、この操作をしないでください（114ページ）。
- 電源をいったん取り外し、取り付け直してからもう1度操作し直す。
- カセットを交換する。リセットボタン（26ページ）を押してからもう1度操作し直す。

E:61:□□/E:62:□□/E:91:□□
- 修理が必要なため、テクニカルインフォメーションセンター（裏表紙）にご連絡いただき、Eから始まる数字すべてをお知らせください。

101-1001（ファイル関連の警告）
- ファイルが壊れている。
- 扱えないファイル（110ページ）。

（バッテリー残量に関する警告）
- バッテリー残量が少ない。
- 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約5～10分でも警告表示が点滅することがある。

（結露の警告）*
- カセットを取り出し、電源を外して、カセット入れを開けたまま、約1時間放置する（114ページ）。

（"メモリースティック　デュオ"関連の警告）
- "メモリースティック デュオ"が入っていない（18ページ）。

（"メモリースティック　デュオ"フォーマット関連の警告）*
- "メモリースティック　デュオ"が壊れている。
- "メモリースティック　デュオ"が正しくフォーマットされていない（47、110ページ）。

（非対応"メモリースティック　デュオ"関連の警告）*
- 本機では使えない"メモリースティック デュオ"を入れた（110ページ）。

次のページへつづく➡

(テープ関連の警告)

遅い点滅

- テープ残量が5分を切った。
- カセットが入っていない。*
- カセットが誤消去防止状態になっている(109ページ)。*

速い点滅

- テープが終わっている。*

⏏(テープを取り出す必要がある警告)*

遅い点滅

- カセットが誤消去防止状態になっている(109ページ)。

速い点滅

- 結露している(114ページ)。
- 自己診断表示が表示されている(103ページ)。

(画像消去に関する警告)*

- 画像が消去できないようになっている(68ページ)。

(“メモリースティック デュオ”誤消去防止に関する警告)*

- “メモリースティック デュオ”が誤消去防止状態になっている(110ページ)。

(フラッシュ関連の警告)

遅い点滅

- 充電中

速い点滅

- 自己診断表示が表示されている(103ページ)。*
- フラッシュに異常がある。

(手ぶれ警告)

- 光量不足のため、手ぶれが起こりやすい状況になっているので、フラッシュを使う。
- 手ぶれが起こりやすくなっているので、本機を両手でしっかりと固定して撮影する。ただし、手ぶれマークは消えません。

* 警告表示が出るときに、「操作音」が鳴ります(56 ページ)。

お知らせメッセージの説明

お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

- [OK]が表示されているときにタッチすると、メッセージが[ⓘ]になることがあります。[ⓘ]をタッチすると、再びメッセージが表示されます。

■ バッテリー/電源

"インフォリチウム"バッテリーを使ってください(112ページ)

バッテリーを取りかえてください(9、112ページ)

このバッテリーは古くなりました　取りかえてください(112ページ)

⏏電源を取り付けなおしてください(9ページ)

ACアダプタを交換、または挿しなおしてください(10ページ)

■ 結露

結露しています カセットを取り出してください（114ページ）

結露しています 約1時間放置してください（114ページ）

■ カセット/テープ

カセットを入れてください（17ページ）

カセットを入れなおしてください（17ページ）
- テープの損傷などがないかも確認する。

カセットの誤消去防止ツマミを確認してください（109ページ）

テープが終わっています（17、23ページ）
- テープを巻き戻すか交換する。

■ "メモリースティック デュオ"

メモリースティックを入れてください（18ページ）

メモリースティックを入れなおしてください（18、110ページ）
- "メモリースティック デュオ"を2、3回入れ直す。それでも表示されるときは"メモリースティック デュオ"が壊れている可能性があるので交換する。

読み出し専用のメモリースティックです
- 書き込みができる"メモリースティック デュオ"を入れる。

非対応のメモリースティックです
- 本機では使えない"メモリースティック デュオ"が入っている（110ページ）。

このメモリースティックはフォーマットが違います
- "メモリースティック デュオ"のフォーマットを確認し、必要ならばフォーマットする（47、110ページ）。

このメモリースティックは空き容量がたりません これ以上は記録できません
- 不要な画像を消す（67ページ）。

メモリースティックの誤消去防止ツマミを確認してください（110ページ）

再生できません メモリースティックを入れなおしてください（18ページ）

記録できません メモリースティックを入れなおしてください（18ページ）

ファイルがありません
- "メモリースティック デュオ"になにも記録されていない、または認識できる画像がない。

USBストリーミング中です メモリースティックの記録・再生はできません
- USBストリーミング中に記録または再生しようとしている。

メモリースティックのフォルダがいっぱいです
- 作成できるフォルダは、999MSDCFまでです。本機でフォルダ消去はできません。
- フォーマットするか（47ページ）、パソコンで不要なフォルダを消去する。

メモリースティックに静止画記録できない状態です（88ページ）

メモリースティックに動画記録できない状態です（88ページ）

■ PictBridge対応プリンター

接続先を確認してください

- プリンターの電源を入れなおし、USBケーブルをいったん抜いてからもう1度つなぐ。

PictBridge対応プリンターと接続してください

- プリンターの電源を入れなおし、USBケーブルをいったん抜いてからもう1度つなぐ。

異常が確認されました　中止してください

- プリンターを確認する。

プリントできません　プリンターを確認してください

- プリンターの電源を入れなおし、USBケーブルをいったん抜いてからもう1度つなぐ。

■ フラッシュ

充電中です　静止画記録はできません

- フラッシュの充電中に静止画記録しようとしている。

■ レンズカバー

レンズカバーが開ききっていません　電源を入れなおしてください（13ページ）

**レンズカバーを閉じられませんでした
レンズカバーを閉じたい場合は電源を入れなおしてください**（13ページ）

■ その他

コピープロテクトされています　記録できません（109ページ）

**DV入力のアフレコはできません
“i.LINK”ケーブルを抜いてください**
（65ページ）

SP以外の録画モードで記録されている部分です　アフレコできません（65ページ）

12bit以外の音声モードで記録されている部分です　アフレコできません
（65ページ）

無記録部分です　アフレコできません
（65ページ）

アフレコできません

- 他機で4CHマイク記録をした部分にはアフレコできません。

⊗ 🎞 ヘッドが汚れています　クリーニングカセットを使ってください
(115ページ)

⊗ 🎞 ヘッドが汚れているか、正常に録画できていません。クリーニングカセットのご使用をおすすめします(115ページ)

シンプル操作に設定できません
(20、84ページ)

シンプル操作を解除できません
(20、84ページ)

シンプル操作中は無効です(21ページ)

シンプル操作中　撮る−テープモードではUSBは無効です。

- 電源スイッチが「撮る−テープ」で、[USBカメラ]の[パソコン接続ストリーム]を選び、シンプル操作に設定したときは、USB接続を行うことはできません。

HDV記録テープです　再生できません

- HDV形式は本機では再生できません。画像を撮影した機器で再生してください。

HDV記録テープです　アフレコできません

- 本機ではHDV形式で記録された部分にアフレコすることはできません(65ページ)。

片方のAVケーブルを抜いてください

- AV接続ケーブルが本機とハンディカムステーションに同時につながっています。どちらか一方からAV接続ケーブルを抜いてください。
- AV接続ケーブルが本機のみに差し込まれているときに、本機がハンディカムステーションに正しく取り付けられていないので、ハンディカムステーションを正しく取り付ける。

海外で使う

電源について

本機は、海外でも使えます。
付属のACアダプターは、全世界の電源（AC100V〜240V、50/60Hz）で使えます。また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。
電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使わないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	主に北米	主にヨーロッパなど
使用する変換プラグアダプター	不要	

カラーテレビ方式について

テレビで再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC、下記参照）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）と接続ケーブルが必要です。

テレビ方式がNTSCの国、地域（五十音順）

アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコ など

時差補正機能ついて

海外で使うとき、時間設定メニューの［時差補正］を選ぶと、時差を設定するだけで時刻を現地時間に合わせられます（57ページ）。

ビデオカセットについて

本機はDV方式のビデオカメラレコーダーです。本機は、ミニDVカセットのみ使えます。

Mini DV マーク付きカセットを使ってください。

本機は、カセットメモリー非対応です。

無記録部分を作らないために

次のときは、撮影の前にエンドサーチ（31ページ）を行って撮影終了位置に戻します。

- テープを再生したとき
- エディットサーチを使った場合

著作権保護信号について

■ 再生するとき

本機で再生されるカセットに著作権保護のための信号が記録されている場合には、他機をつないで本機の画像を記録するとき、記録が制限されることがあります。

■ 記録するとき

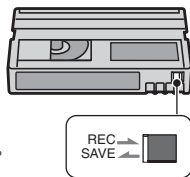
著作権保護のための信号が記録されている映像音声は本機で記録することはできません。このような映像音声を記録しようとすると、液晶画面またはファインダーに［コピープロテクトされています　記録できません］が表示されます。なお、ビデオカメラで撮影した画像には、著作権保護のための信号は記録されません。

取り扱い上のご注意

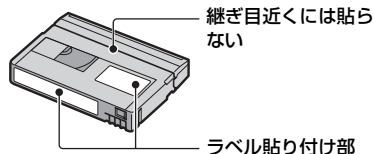
■ 長い間使わないときは

本機からカセットを取り出して保管してください。

■ 間違って消さないために

カセットの背にある誤消去防止ツマミをSAVEの矢印のほうへずらします。

REC：録画できる。
SAVE：録画できない。
（誤消去防止状態）

■ ラベルは指定の位置に

カセットにラベルは、指定の位置に正しく貼ってください。指定以外の位置に貼ると故障の原因になります。

継ぎ目近くには貼らない

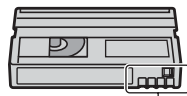
ラベル貼り付け部

■ カセットの使用後は

必ずテープを巻き戻してください（画像や音声が乱れる原因となります）。巻き戻したテープはケースに入れ、立てて保管してください。

■ 金メッキ端子のお手入れ

カセットの金メッキ端子が汚れたり、ゴミが付着したりすると、テープ残量表示などが正しく表示されないことがあります。

カセットの取り出し回数10回を目安にして、綿棒でカセットの金メッキ端子をクリーニングしてください。

金メッキ部

“メモリースティック”について

“メモリースティック”（“Memory Stick”）は小さくて軽いのに、フロッピーディスクより大容量のIC記録メディアです。
本機は、標準の“メモリースティック”の約半分の大きさの“メモリースティック デュオ”のみ使えます。ただし、すべての“メモリースティック デュオ”の動作を保証するものではありません。

“メモリースティック”の種類	記録/再生
メモリースティック（マジックゲート非対応）	–
メモリースティック デュオ*[1]（マジックゲート非対応）	○
マジックゲート メモリースティック	–
メモリースティック デュオ*[1]（マジックゲート対応）	○*[2]*[3]
マジックゲート メモリースティック デュオ*[1]	○*[3]
メモリースティック PRO	–
メモリースティック PRO デュオ*[1]	○*[2]*[3]

*[1] 標準の約半分大のサイズです。

*[2] 高速データ転送に対応した“メモリースティック”です。転送速度はお使いになる機器により異なります。

*[3] “マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。本機ではマジックゲート機能を使ったデータは記録/再生できません。

- 静止画の圧縮形式：本機は、撮影した静止画データをJPEG（Joint Photographic Experts Group）方式で圧縮/記録しています。ファイル拡張子は「.JPG」です。
- 動画の圧縮形式：本機は、撮影した動画データをMPEG（Moving Picture Experts Group）方式で圧縮/記録しています。ファイル拡張子は「.MPG」です。
- 静止画の画像のデータファイル名：
  - 本機の画面表示：101-0001
  - パソコンの画面表示：DSC00001.JPG
- 動画の画像のデータファイル名：
  - 本機の画面表示：MOV00001
  - パソコンの画面表示：MOV00001.MPG
- パソコン（Windows OS/Mac OS）でフォーマット（初期化）した“メモリースティック”は、本機での動作を保証いたしません。
- お使いの“メモリースティック”と機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。

誤消去防止スイッチ付き“メモリースティック デュオ”では

先の細いものでスライドさせて、「LOCK」にすると、記録されているデータを誤って消去しないようにできます。

取り扱い上のご注意

次の場合、画像ファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償については、ご容赦ください。

- 画像ファイルを読み込み中や、“メモリースティック デュオ”にデータを書き込み中（アクセスランプが点灯中および点滅中）に、“メモリースティック デュオ”を取り出したり、本機の電源を切ったりした場合
- 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使った場合

大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。

■ 取り扱いについて

次のことを守ってください。

- メモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- “メモリースティック デュオ”本体およびメモリースティック デュオ アダプターにラベルなどは貼らないでください。

- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック　デュオ”に付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込む恐れがあります。
- “メモリースティック　デュオ”スロットには、“メモリースティック　デュオ”以外は入れないでください。故障の原因となります。

■ 使用場所について

次の場所での使用や保管は避けてください。

- 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

■ メモリースティック　デュオ　アダプターの使用について

“メモリースティック　デュオ”をメモリースティック　デュオ アダプターに挿入すると、標準の“メモリースティック”対応機器でもご使用になれます。

- “メモリースティック　デュオ”を“メモリースティック”対応機器でお使いの場合は、必ず“メモリースティック　デュオ”をメモリースティック　デュオ　アダプターに入れてからお使いください。
- “メモリースティック　デュオ”をメモリースティック　デュオ　アダプターに入れるときは、正しい挿入方向をご確認の上、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不充分だと正常に動作しない場合があります。また、逆向きで無理に入れると、メモリースティック　デュオ　アダプターが破損し故障の原因となります。
- メモリースティック　デュオ　アダプターに“メモリースティック　デュオ”が装着されない状態で、“メモリースティック”対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。

■ “メモリースティック　PRO　デュオ”についてのご注意

- 本機で動作確認されている“メモリースティック　PRO　デュオ”は2GBまでです。
- 本機はパラレルインターフェースを利用した高速データ通信には対応していません。
- 使用可能な“メモリースティック”の最新情報につきましてはホームページ上の「メモリースティック対応表」をご確認ください（裏表紙）。

画像の互換性について

- 本機は（社）電子情報技術産業協会にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”に対応しています。
- 統一規格に対応していない機器（DCR-TRV900、DSC-D700/D770）で記録された静止画像は本機では再生できません。
- 他機で使用した“メモリースティック　デュオ”が本機で使えないときは、47ページの手順にしたがい本機でフォーマット（初期化）をしてください。フォーマットすると“メモリースティック　デュオ”に記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- 次の場合、正しく画像を再生できないことがあります。
  – パソコンで加工した画像データ
  – 他機で撮影した画像データ

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて

本機は“インフォリチウム”バッテリー(Pシリーズ)のみ使用できます。それ以外のバッテリーは使えません。“インフォリチウム”バッテリーPシリーズには InfoLITHIUM P SERIES マークがついています。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーとは？

“インフォリチウム”バッテリーは、本機や別売りのACアダプター/チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。
“インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。

充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10〜30℃の範囲で、充電ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
  – バッテリーをポケットなどに入れてあたたかくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける。
  – 高容量バッテリー「NP-FP71/FP90(別売り)」を使う。
- 液晶画面の使用や再生/早送り/巻き戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。
  高容量バッテリー「NP-FP71/FP90(別売り)」のご使用をおすすめします。
- 本機で撮影や再生中は、こまめに電源スイッチを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2〜3倍の予備バッテリーを準備して、事前にためし撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。
- バッテリー残量時間が約5〜10分でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告するマークが点滅することがあります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、基本設定メニューで[自動電源オフ]を[なし]に設定し、電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください(57ページ)。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

i.LINK(アイリンク)について

本機のDV端子はi.LINKに準拠したDV端子です。ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

i.LINKとは？

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。
i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

- i.LINKケーブルで本機と接続できる機器は通常１台だけです。複数接続できるDV対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- i.LINK(アイリンク)はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
- IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、次の3種類があります。

S100(最大転送速度　約100Mbps*)
S200(最大転送速度　約200Mbps)
S400(最大転送速度　約400Mbps)

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。
最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbps とは？

「Mega bits per second」の略で「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。100Mbpsならば100メガビットのデータを送ることができます。

本機でのi.LINK操作は

他のDV端子付きビデオとつないでダビングする方法については60、62ページをご覧ください。
また、本機はビデオ機器以外のソニー製i.LINK(DV端子)対応機器(パーソナルコンピューターVAIOシリーズなど)とも接続してご使用になれます。
なお、デジタルテレビ、DVD、MICROMV、HDVなどの映像機器には、i.LINK端子を搭載しながらも、DV機器とは対応できない仕様のものがあります。接続の際はあらかじめDV対応の有無をご確認ください。
接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションソフトの有無などについては、接続する機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

必要なi.LINKケーブル

ソニー製i.LINKケーブルを使ってください。
4ピン←→4ピン(DVダビング時)

取り扱い上のご注意とお手入れ

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
  炎天下や熱器具の近く、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
  故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
  正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
  雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶画面やファインダー、レンズが太陽に向いたままとなる場所（窓際や室外など）
  液晶画面やファインダー内部を傷めます。

■ 長時間使用しないときは

- 3分間ほど再生するなどして、ときどき電源を入れてください。
- バッテリーは使い切ってから、保管してください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起こると、[◙⏏結露しています カセットを取り出してください]または[◙結露しています 約1時間放置してください]と警告表示が出ます。ただし、レンズの結露では表示は出ません。

■ 結露が起きたときは

カセットは直ちに取り出してください。警告表示が出ている間は、⏏OPEN/EJECTつまみ以外は働きません。

電源を切ってカセットカバーを開けたまま、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてビデオ操作ボタンを押しても◙や⏏が点滅しなければ使えます。
結露気味のときは、本機が結露を検出できないことがあります。このようなときは、カセットカバーを開けてから約10秒間カセットが出てこないことがありますが、故障ではありません。
カセットが出てくるまでカセットカバーを閉めないでください。

■ 結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

■ 結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

ビデオヘッドについて

- ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できなかったり、ノイズの多い再生画像になったり、音声が途切れたりします。
- 次のような症状になったときは、別売りの乾式クリーニングカセットDVM-12CLDを10秒間使ってヘッドをきれいにしておきましょう。
  – 再生画面に次のような四角いノイズが出る、または青１色の画面になる。

  – 再生画面の一部が動かない。
  – 再生画像が出ない、または音声が途切れる。
  – 録画中に［⊗ ヘッドが汚れています　クリーニングカセットを使ってください］が表示される。
  – 再生中に［⊗ ヘッドが汚れているか、正常に録画できていません。クリーニングカセットのご使用をおすすめします］が表示される。
- ビデオヘッドは長時間使うと摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

液晶画面について

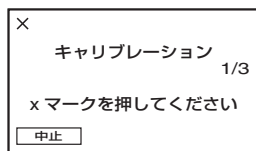
- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、異常ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

■ お手入れ

液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などで拭いてください。別売りの液晶クリーニングキットを使うときは、クリーニングリキッドを直接液晶画面にかけず、必ずクリーニングペーパーに染み込ませて使ってください。

■ 画面調節（キャリブレーション）について

タッチパネルのボタンを押したとき、反応するボタンの位置にずれが生じることがあります。
このような症状になったときは、次の操作を行ってください。本機またはハンディカムステーションとコンセントを、付属のACアダプターでつないで電源を取ってください。

① 電源スイッチを「見る / 編集」にする。
② 本機またはハンディカムステーションから AC アダプター以外のケーブル類を外し、カセットと“メモリースティック　デュオ”を取り出す。
③ P.メニュー→［メニュー］→ 基本設定 →［キャリブレーション］→ OK をタッチ。
- 画面が4:3のときは、ワイド（16:9）に切り換わります。

④ “メモリースティック　デュオ”の角のような先の細いものを使って、画面に表示される×マークを押す。
×マークの位置は変わります。

解除するには手順④で［中止］をタッチ。
正しい位置を押さなかった場合、やり直しになります。

- 液晶画面を外側に向けたときは、キャリブレーションできません。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。

その他

- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、次のことは避けてください。
  - シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類。
  - 上記が手に付いたまま本機を扱う。
  - ゴムやビニール製品との長時間接触。

レンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良いゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。また本機を良好な状態で長期にわたって使っていただくためにも、月に1回程度、本機の電源を入れて操作することをおすすめします。

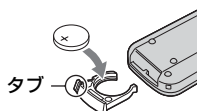
内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機が付属のACアダプター、ハンディカムステーションを使ってコンセントにつながっているか、バッテリーを取り付けている限り常に充電されています。ACアダプターで電源につながない、またはバッテリーを取り付けないままで**3か月**近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。
ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

■ 充電方法

本機を付属のACアダプター、ハンディカムステーションを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源スイッチを「切（充電）」にして24時間以上放置する。

リモコンの電池を交換するには

① タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引出す。
② ＋面を上にして新しい電池を入れる。
③ 電池ケースを「カチッ」というまで差し込む。

- リモコンには、ボタン型リチウム電池（CR2025）が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

“メモリースティック　デュオ”を廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、“メモリースティック　デュオ”内のデータは完全には消去されないことがあります。廃棄/譲渡の際は、“メモリースティック　デュオ”本体を物理的に破壊するか、市販のパソコンによるデータ消去専用ソフトなどを使って“メモリースティック デュオ”内のデータを完全に消去することをおすすめします。

主な仕様

システム

録画方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン
静止画記録方式	Exif Ver.2.2*1
録音方式	回転2ヘッド 12ビット32kHz （ステレオ1、ステレオ2） 16ビット48kHz（ステレオ）
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
使用可能カセット	Mini DV マークのついたミニDVカセット
テープ速度	SP：約18.81mm/秒 LP：約12.56mm/秒
録画/再生時間	SP：60分（DVM60使用時） LP：90分（DVM60使用時）
早送り、巻き戻し時間	バッテリー使用時： 約2分40秒（DVM60使用時） ACアダプター使用時： 約1分45秒（DVM60使用時）
ファインダー	電子ファインダー：カラー
撮像素子	5.9mm（1/3型）CCD固体撮像素子 総画素数：約331万画素 静止画時有効画素数：約305万画素 動画時有効画素数：約205万画素
ズームレンズ	カール ツァイス　バリオゾナーT＊ 10倍（光学）、120倍（デジタル） f=5.1～51mm 35mmカメラ換算では 「撮る－テープ」時： 42.8～495mm（16:9モード）*2 （4:3モードでは45～450mm） 「撮る－メモリー」時： 37～370mm（4:3モード） （16:9モードでは40.6～406mm） F1.8～2.9 フィルター径30mm
色温度切り換え	［オート］、［ワンプッシュ］、 ［屋内］（3200K）、 ［屋外］（5800K）
最低被写体照度	11 lx（ルクス）（F1.8） 0 lx（ルクス）（NightShot時）

*1 （社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画用のファイルフォーマット。
*2 広角画素読み出しによる実動作値

入/出力端子

A/V端子	10ピン特殊コネクター 入力/出力自動切り換え 映像：1 Vp-p、75 Ω不平衡 Y出力　1Vp-p、75Ω不平衡 C出力　0.286Vp-p、75Ω不平衡 音声：327mV（47 kΩ負荷時）、入力インピーダンス47 kΩ以上、出力インピーダン ス2.2 kΩ以下
LANC端子	ステレオミニミニジャック （ø 2.5）

液晶画面

画面サイズ	6.9cm（2.7型、アスペクト比16:9）
総ドット数	123 200ドット 横560×縦220

電源部、その他

電源電圧	バッテリー端子入力7.2V DC端子入力8.4V
消費電力	3.0W（ファインダー使用時、明るさ標準） 3.4W（液晶画面使用時、明るさ標準） 3.6W（ファインダー、液晶画面使用時、明るさ標準）
動作温度	0℃～+40℃
保存温度	－20℃～+60℃
外形寸法	72×91×120mm （最大突起部を除く）（幅×高さ×奥行き）
本体質量	約460g（本体のみ）
撮影時総質量	約525g（バッテリーNP-FP50、テープ（DVM60）含む。）
付属品	8ページをご覧ください。

ハンディカムステーション 入出力端子 DCRA-C152

A/V端子	10ピン特殊コネクター 入力/出力自動切り換え 映像:1 Vp-p、75Ω不平衡 Y出力 1 Vp-p、75Ω不平衡 C出力 0.286Vp-p、75Ω不平衡 音声:327 mV(47 kΩ負荷時)、入力インピーダンス47 kΩ以上、出力インピーダンス2.2 kΩ以下
USB端子	mini-B
DV端子	i.LINK(IEEE1394 4ピンコネクターS100)

ACアダプター AC-L25A/L25B

電源	AC100～240V、50/60Hz
消費電力	18W
定格出力	DC8.4V *
動作温度	0℃～+40℃
保存温度	−20℃～+60℃
外形寸法	約56×31×100mm(最大突起部をのぞく)(幅×高さ×奥行き)
質量	約190g(本体のみ)

* その他の仕様については AC アダプターのラベルをご覧ください。

リチャージャブルバッテリーパック NP-FP50

最大電圧	DC8.4V
公称電圧	DC7.2V
容量	4.9Wh(680mAh)
最大外形寸法	約31.8×18.5×45.0mm(幅×高さ×奥行き)
質量	約45g
使用温度	0℃～+40℃
使用電池	Li-ion

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

■ 調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな?と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

■ それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンター(裏表紙)にお問い合わせください。

■ 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■ 部品の保有期間について

当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

■ 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

安全のために

→ 2ページもあわせてお読みください。

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はテクニカルインフォメーションセンターにご依頼ください。

内部に水や異物(金属類や燃えやすい物など)を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り外してください。ACアダプターや充電器などもコンセントから抜いて、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

指定以外の電池、ACアダプター、充電器を使わない

火災やけがの原因となることがあります。

機器本体や付属品、記録メディアは、乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や"メモリースティック"などを飲み込む恐れがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。
また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

電源コードを傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

フラッシュ、ビデオライトご使用上の注意

- 点灯したまま放置しない。
- 使用中に紙や布などの燃えやすいものを近づけない。
- ビデオライトの点灯中及び消灯直後のランプに触らない。
- 指定以外のランプを使用しない。火災ややけどの原因になります。
- 可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュまたは、ビデオライトを使用しない。

次のページへつづく→

フラッシュ、ビデオライトなどの撮影補助光を至近距離で人に向けない

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、AV接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

通電中のACアダプター、充電器、充電中のバッテリーや製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源を外す

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外したり、電池を本体から外して保管してください。火災の原因となることがあります。

フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を手で覆ったまま発光しないでください。発光後も発光部に手を触れないでください。やけどの原因となります。

レンズや液晶画面に衝撃を与えない

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

電池や付属品、記録メディア、アクセサリーなどを取り外すときは、手をそえる

電池や"メモリースティック"などが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

次のページへつづく➡

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがや**やけど、火災**などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

⚠危険	●バッテリーパックは指定された充電器以外で充電しない。 ●電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。 ●電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。 ●電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。 ●電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡らさない。濡れた電池を充電したり、使用したりしない。	
	●電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。 ●ボタン電池は充電しないでください。	
	●電池を使い切ったときや、長時間使用しない場合は機器から取り外しておく。	

お願い	リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったこれらの電池は、金属部分にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。 Li-ion リチウムイオン電池 **充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店については** 有限責任中間法人JBRCホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照してください。

索引

ア行

カ行

サ行

次のページへつづく➡

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

ワ行

アルファベット順

次のページへつづく➡

数字

商標について

- “Memory Stick”、“メモリースティック”、“ MEMORY STICK ™ ”、“メモリースティック　デュオ”、“MEMORY STICK DUO”、“メモリースティック PRO　デュオ”、“MEMORY STICK PRO DUO”、“マジックゲート”、“MAGICGATE”、“MagicGate Memory Stick”、“マジックゲート　メモリースティック”、“MagicGate Memory Stick Duo”、“マジックゲート　メモリースティック　デュオ”はソニー株式会社の商標です。
- InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。
- i.LINK、i.はソニー株式会社の商標です。
- Picture Packageはソニー株式会社の商標です。
- Mini DV Digital Video Cassetteは商標です。
- Handycam、HANDYCAMはソニー株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows MediaはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows Media Playerは、Microsoft Corporationの商標です。
- iMac、iBook、eMac、Macintosh、Mac OS、PowerBook、Power MacはApple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- QuickTimeおよびQuickTimeロゴはAppleComputer, Inc.の商標です。
- Adobe、Adobe logo、Adobe Acrobatは、Adobe System Incorporatedの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Roxioは、Roxio, Inc.の登録商標です。
- Toastは、Roxio, Inc.の商標です。
- MacromediaおよびMacromedia Flash PlayerはMacromedia, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

■ 製品についてのサポートのご案内

ホームページで調べる

ハンディカムの最新サポート情報
（製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など）
http://www.sony.co.jp/cam/support/

ハンディカムホームページ
http://www.sony.co.jp/cam
ハンディカムの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。

メモリースティック対応表
http://www.sony.co.jp/mstaiou
使用可能な"メモリースティック"を確認することができます。

付属ソフトウェア（Picture Package）のサポート情報
http://www.ppackage.com/

電話で問い合わせる（おかけ間違いにご注意ください）

テクニカルインフォメーションセンター
【電話番号】0564-62-4979
受付時間：月～金曜日　午前9時～午後8時
土、日曜日、祝日　午前9時～午後5時
お電話の際は、本機をお手元にご用意ください。

Picture Packageに関するお問い合わせ窓口
ピクセラユーザーサポートセンター
【電話番号】06-6633-3900
受付時間：月～日曜日　午前9時～午後5時（年末、年始、祝日を除く）

修理のお申し込み

指定宅配便での修理品のお引き取りから修理後の製品のお届けまでを一括して行います。テクニカルインフォメーションセンターへお電話いただくか、WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-repair/

■ カスタマー登録のご案内

カスタマー登録していただくと、安心、便利な各種サポートが受けられます。
詳しくは、同梱のチラシ「カスタマー登録のご案内」もしくはご登録WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-regi/

登録後は登録者専用お問い合わせ窓口をご利用いただけます。
詳しくは下記のURLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/cam/contact/

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35　http://www.sony.co.jp/

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan